

宮城県環境生活部長 殿

特定非営利活動法人ジョイナス

理事長：田中 安友

市民への説明について

平成27年4月6日付け 共社第 7号で要請がありました事項について下記の通り説明いたします。

尚、説明の実施については、当法人の事務所に備え付けます。また、宮城県共同参画社会推進課のホームページに掲載する方法で行いたいのので、ご対応をお願いいたします。

記

- (1) スポーツ振興基金を特別会計という形態で管理・運用し、計算書類及び財産目録等に計上していないことについて

スポーツ振興基金は、平成15年10月29日から、旧中新田町体育協会より特定非営利活動法人ジョイナス設立準備委員会が引継いでおります。基金の管理・運用については、当法人の理事会及び総会においてすべて協議、報告をしております。

共同参画社会推進課への事業及び収支決算の報告については、年度毎の事業及び収支決算の報告でよいと理解しており、スポーツ振興基金の管理・運用に関しては報

告

しておりませんでした。

- (2) スポーツ振興基金を引継ぐことになった経緯について

旧中新田体育協会は財団化を目指し、昭和60年より基金の積み立てを行って来ました。基金の果実で体育協会の自立財源を確保し、安定した運営と地域の生涯スポーツ

振

興を図ろうとしたものです。

当初の基金造成目標額は、5000万円でありましたが積立期間中に金利が下がり、目標達成には至りませんでした。

平成15年4月に中新田町、小野田町、宮崎町の合併に伴い、3町の体育協会も合併するように指導があり、中新田町体育協会の所有するスポーツ振興基金の取り扱いについて3町の体育協会の代表による協議がなされ、中新田地区の生涯スポーツ振興に活用することが決定しました。それを受けて、スポーツ振興基金運用委員会が設立さ

れ

協議した結果、総合型クラブ設立準備委員会に移行が決定しました
その後、ジョイナスが設立され、引き継がれました。

(3) 特別会計について

ア 特別会計の目的及び事業との関連性

動

スポーツ振興基金には、中新田地区の生涯スポーツ振興を図るため、特定非営利活

法人ジョイナスが引継いだものです。特定非営利活動法人ジョイナス設立目的に沿
い、定款に定めているスポーツを通じた青少年の健全育成や地域住民やスポーツ団
体・スポーツサークルの企画及び運営、スポーツを通じた社会福祉の増進に関する

事

業、スポーツに関する講習会などの事業を行うための運営・活動の基盤である事務

局

体制の充実に繋がっています。

イ 通常の会計から区分して管理している理由

し

特定非営利活動法人ジョイナスの収入は、登録会員費・正賛助会員費・事業収入が
主であり、年度収支のみを明確にしておりました。スポーツ振興基金の管理につつま

ては、「法第7条、組合等登記令第2条第2項第6号及び第3条第3号」に定める資
産の総額の申請及び資産の総額の変更の登記に関する規定を熟知しておらず申請及
び報告手続きに不備がありました。

ウ 計算書類及び財産目録に資産として計上していない理由

識

事業年度毎の事業並びに収支計算書、スポーツ振興基金の使途及び期末残高につい
ては通常社員総会時に審議報告をしておりました。しかし、特定非営利活動法の知

に乏しく申請・報告をしておりませんでした。

エ 特別会計の収入・支出状況、使途及び期末残高

事業年度毎の通常社員総会時において報告し、審議を得て承認されてきました。

オ 監査の実施状況及び通常社員総会における審議状況

事業年度毎に、通常会計及び特別会計の監査を受けており通常社員総会において
も審議され、社員に承認されております。

(4) 事業年度末日から、2ヶ月以内にしなければならない資産の総額に係る登記状況
「法第7条、組合等登記令第2条第2項第6号及び第3条第3号」を熟知しておら
ず

手続きに不備がありました。

(5) 会計処理等の適正化に向けた今後の対応及び改善策
スポーツ振興基金は特定非営利活動法人ジョイナスの通常会計の中で収支報告、財産
目録を作成し「法第7条、組合等登記令第2条第2項第6号及び第3条第3号」に基
づ

き、所轄官庁への報告の義務を行ってまいります。

スポーツ振興基金の引継ぎ書

平成15年10月29日付の旧中新田町体育協会からの「スポーツ振興基金」に関する一切の資産並びに残務事務に要する業務の引渡しを受けましたので、引渡し書に記載ある一切を引継ぐことを確約いたします。

平成15年10月29日

特定非営利活動法人ジョイナス
設立準備委員長 工 藤 清 悦

旧中新田町体育協会理事長 尾 形 明 殿

付 記

※スポーツ振興基金の引継ぎ時残高

番号	金融機関名	種 別	金 額	備 考
①	加美よつば農業協同組合	定期預金	6,361,773	平成14年8月26日預入(6ヶ月定期・自動継続)
②	同	同	1,213,301	平成10年10月14日預入(6ヶ月定期・自動継続)
③	七十七銀行中新田支店	同	5,800,000	平成12年9月29日預入(6ヶ月定期・自動継続)
④	古川信用組合中新田支店	普通預金	850,791	平成15年3月15日現在残高
			△500,000	スポーツ振興基金運用委員会の決定により、「市町村体育協会地域スポーツクラブ普及推進事業」会計に繰出。
			182,003	「50年の歩み」売上代金及び利子
			532,794	平成15年10月25日現在預金通帳残高
合 計 金 額			13,907,868	平成15年10月29日旧中新田町体育協会より引受け金額

上記の定期預金の利子は、それぞれ普通預貯金通帳に振込まれ、旧体協の一般会計に組入れて運用することになっている。併せて、「50年の歩み」の売上代金の納入も同様の預金通帳に振込むことになっているため、処理の終了段階で、特定非営利活動法人ジョイナスの特別会計に繰入れる。

旧中新田町体育協会

理事長

辰形 明

副理事長

早坂 寅夫

理事

高橋 岩岡

理事

高橋 秋雄

理事

川 鯨 勝義

理事

三浦 淳子

理事

佐々木 嘉昭

理事

昌山 恭

理事

伊藤 静雄

理事

佐々木 正浩

理事

千葉 正敏

理事

伊藤 勝喜

理事

田中 安友

理事

岡田 寛太郎

理事

本田 郁夫

理事

石川 文好

理事

中村 于代志

理事

高橋 仁

理事

菅原 章夫

理事

福地 敏一

理事

佐々木 孝一

理事

米澤 康文

理事

佐々木 國夫

理事

大場 利造

理事

佐々木 功

会長

工藤 清悦

副会長

菅原 博志

副会長

長谷川 洋江

スポーツ振興基金の引渡し書

1. 旧中新田町体育協会は、下記の「中新田町体育協会スポーツ振興基金」について新たに設置する「特定非営利活動法人ジョイナス」に、残存する全ての資金及び財産を引き渡すこと。
2. 「中新田町体育協会50年の歩み」(平成14年1月26日発刊)の売上代金の回収作業が残っており、今後販売されることも予想され、それらの売上代金は別会計にしている部分もある。それらの全ては上記の「スポーツ振興基金に繰入れることになっているので、残務処理事務を含めてこれらの「振興基金」の一切を特定非営利法人ジョイナスに引き渡すこと。
3. 「中新田町体育協会スポーツ振興基金」に関する資産の運用については、設立準備委員会より答申がなされたことを理解し、その後の運用については、旧中新田町体育協会は一切の権限を引き渡すこと。

記

※スポーツ振興基金の明細

番号	金融機関名	種別	金額	備考
①	加美よつば農業協同組合	定期預金	6,361,773	平成14年8月26日預入(6ヶ月定期・自動継続)
②	同	同	1,213,301	平成10年10月14日預入(6ヶ月定期・自動継続)
③	七十七銀行中新田支店	同	5,800,000	平成12年9月29日預入(6ヶ月定期・自動継続)
④	古川信用組合中新田支店	同	850,791	平成15年3月12日預入(6ヶ月定期・自動継続)
合計金額			14,225,865	平成15年3月15日旧中新田町体育協会平成14年度臨時総会時の額面金額による。
上記の定期預金の果実は、普通預金通帳に振込まれ、旧体協の一般会計に組入れて運用することになっていた。それらの残金を含めた合計金額は一括して引き渡す。				

※参考添付書類 平成15年7月8日開催 旧中新田町体育協会理事会会議録

これらの内容を確認し、特定非営利活動法人ジョイナスに引渡しを証するため、下記に記(署)名押印いたします。

平成15年10月29日

特定非営利活動法人ジョイナス設立準備委員会 殿

設立準備委員会総会までの経過報告

中新田スポーツ振興基金に関する答申報告会

平成15年6月20日(金) 19:00
中新田公民館第三会議室

出席 基金運用委員 工藤 清悦
事務局
体育指導委員 ()
旧体育協会加盟協会長及び理事並びに
なかにいたニュースポーツクラブ指導者

委任出席
○あいさつ
前中新田町体育協会会長 工藤 清悦
スポーツ振興基金運用委員会
委員長
○協議事項(座長)
付託事項の答申(報告)と承認について
1) スポーツ振興基金運用委員会の
経過報告(委員長)
2) スポーツクラブ化をめぐって
企画部会
3) NPO法によるクラブ化の考察
NPO部会
4) 質疑応答
○運用委員会付託の三つの付託事項について
は、よくまとめられていると思うが、要する
に内容はNPO化のために基金を使いたいとい
う方向であろう。そのことの強弱が足りな
いのでは？

A: 付託事項の内容はそれとおおむね、「運用
委員会」としてはそこから踏み出すためには
「設立準備委員会」に移行することの承認を
得てから明確な方針を提示せざるを得ない。
(工藤・佐藤)

○三つに対する報告だけでなく、他の問題が
あるはずで、それはどうなっているのか？

A: クラブは皆さん自身で割りあげていくも
ので、他の問題はこれからの説明会でも意見
を聞いて内容を積み上げて行くつもりであ
る。(工藤・菅原)
○クラブの具体的な姿を他の現案の事例など
を参考に現わしてもらったらよいのでは？

A: 先述地の事例のすべてが本町に合致する
ものでなく、本町らしいクラブを創設するた
めには多くの議論が必要だ。これはほんの一
例にすぎない。多くの意見を出してほしい
し、準備委員会で検討することになろう。
(工藤・高橋)

○加美町中新田地区体育協会(2頁)1回運用
委員会の事項) というのはあるのか？

A: 小野田、宮崎地区はそのような名称で活
動しているようだが、本地区では地区協会
活動することは考えていないし名称もない。
旧中新田町の体育協会という意味に理解して
ほしい。(工藤)
○結構な道筋を提示してもらったのだから、
私たちも積極的の前に進める必要を感じる。
皆で協力すべきである。

5) 設立準備委員会に移行の承認について
満場一致で移行を承認
○閉会挨拶
スポーツ振興基金運用委員会
副委員長

打合わせ 2003. 6. 23 (月) 11:00
中新田公民館第三会議室

出席 佐藤 高秋 高正
○基金運用会の答申報告会の反省と
今後の日程について
これからは準備委員会としての動きになる

ことを確認

○準備委員会の設立時期 9月上旬を予定(案)
準備委員会を2回程度開催する。
並行して説明報告会を開催する。(体協・
ユース、体指、町、町議会議員、社教委
員、推進員等)

○設立準備委員候補者並びに運営委員候補者
について
・ランダムに所属や名前を列挙
・準備委員会設立時に賛同を得られることが
望ましいが、順次参画の促進を図る。

第1回発起人会

2003. 6. 24 (火) 19:00
中新田公民館第三会議室

出席 菅原 工藤 佐藤
高秋 佐々木 米澤
(次席 本多 千葉)

○6月20日の答申報告会の総括
・会の持ち方に反省点がある。運用委員会と
旧体協が別格の存在であるかの内容になっ
てしまった。旧理事長を中心とした会の運
びで運用委員会から参画を受け、旧理事た
ちが設立に向けて動き出す雰囲気にしたか
った。(工藤)

・どんな会の持ち方をして内容も同じだっ
たと思う。理事会の集まりも同じ頃おれだ
ったし、理解できる人は限られていたと思
う。(佐々木秀)
・運用委員会の5回の会議でやっと身につい
た感じ。旧理事が1回の報告での理解はこ
の程度だろう。次回やっても同じことだと
思う。(菅原)

・準備委員会で理解を得るための機会を持つ
こととクラブ化の準備を進めること、更に
NPO法人化も並行してやることがこれか
らの形だ。(佐藤)

○準備委員と運営委員の選出について率先参
画が望ましい。その方法を考慮、例えば公
募による、推薦方法等。途中からの参画も
有り得ること、同時に脱落もある。地域外
や講師も考慮する。

◇候補に上がった人々をチェックと確認。
◇旧体協理事を準備委員として全員張り付
ける。
◇準備委員は運営委員会の専門部会員とし
て移行するのが望ましい。

○次回部会長会議6月30日(月)13時~
第三会議室
・準備委員の張り付け作業………適任者候補も
含めて考慮。
・運用委員は準備委員会各部会に分散。

打ち合わせ 2003. 6. 25 (水) 17:00
中新田公民館第三会議室

出席 工藤 佐藤 高秋 高正
○工藤氏より、6月20日の答申報告会につい
ての反省を根拠に、今後の旧体協理事等の準
備会への積極的参画を促す方策を探りたい旨
の発言。

○準備委員会の機構を明確すること。
・旧体協に所属する競技スポーツ協会、ユ
ーススポーツクラブ、地区協会、体指等はそ
れぞれ説明会を開催し、設立準備委員会に
参画することと振興基金のNPO法人に財
産継承することを確認する。
・準備委員会の事務局を持つ。担当は運用委
員からの選任になろう。
・準備委員会規約を設定。(担当:高秋)
・準備委員の張付けは、運用委員会内で内
体協、一般は順次適任者を追加する。

打ち合わせ 2003. 6. 30 (月) 13:00
中新田公民館第三会議室

出席 佐藤 高秋 高正
○設立準備委員のリスタートアップ
○投票について………福島原双葉町・楢森町

第2回発起人会

2003. 7. 1 (火) 19:00
中新田公民館第三会議室

出席 工藤 佐藤 菅原
佐々木 高秋 高正

○設立準備委員の構成について
・SC設立後の部会との関連
・候補者は約80人前後
・団体からの委員候補の範囲
○双葉町・楢森町への募集について
7月14日 午前6時30分発
双葉町 午前10時30分~
楢森町 午後1時~
参加予定者 佐藤 工藤 高秋 高正

- 準備委員会事務局の設置と事務局員の配置
- ・体育館より離れ過ぎは事務的に不便
- ・付属設備の問題を検討

打ち合わせ 2003. 6. 30 (月) 13:00~
 中新田体育館第三会議室
 出席 工藤 佐藤 高秋 高正
 ○運用委員会答申報告会 (6月20日) の反省
 と今後の進め方
 ○準備委員会としてのスタートについて
 ○準備委員候補メンバーの発掘と分野別選定

旧体育協会運営委員会

2003. 6. 30 (木) 19:00
 中新田体育館ミーティング室
 出席 工藤 菅原、早坂、尾形、
 高橋 (宏)、佐々木 (秀)
 ○基金運用委員会からの答申報告の内容と旧
 体協としての対応について
 ○準備委員会に対する体協としての関わり
 について
 ○今後の進め方について旧体協理事会開催に
 ついて
 7月8日午後7時 中新田公民館で開催予定

第3回発起人会

2003. 7. 1 (月) 19:00
 中新田体育館第三会議室
 出席 工藤 佐藤 高秋 本多
 佐々木 米澤 高正
 ○準備委員のリストラップ
 ○準備委員会別 (案) の審議
 ○福島県双葉町・楳葉町の視察に関する件
 ……参加希望者の確認 (予定4名)

**なかにいだユーススポーツクラブ
 指導者連絡協議会代表者指導者会議**

2003. 7. 3 (木) 19:00
 中新田体育館第三会議室
 出席 ……
 「中新田スポーツ振興基金運用委員会答申に

ついて」の議事録

(佐藤) 運用委員会の一員でもあるが、今日は
 ユースの代表指導者の一員としての立場に立
 って協議をしていきたい。

6月20日 (金) に運用委員会の答申が行わ
 れ、スムーズには運ばなかったが、協議の結
 果「準備委員会に運ぶことが承認された。
 ユーススポーツクラブでも、当事者として準
 備委員会に参加し、立ち上げに協力すべきと
 考える。

クラブではユースが核になるものと思う。
 (正浩) この間の答申の会の進め方に問題は
 あったと思うが、クラブの必要性は認める
 が、選考は相当難しい。どうやって、町民・子
 供・親に知ってもらおうか?

(佐藤) それには、河北新報・町政だよりとか
 で認知してもらおうようにしたら良いと思う。
 広告・宣伝は非常に重要なポイントになる。
 粘り強く行なうほかなしではないか?

(空原) 母集団の協力・応援が得られるか? そ
 れがないと自分達指導者は動けない。母集団
 の協力が、子供にも影響を与えるので、不可
 欠である。

(佐藤) 準備委員会には、是非参加してもら
 うようにしたい!

(少 子 化)

(堀地) 須賀野球も、年々クラブ員が減少し、
 年1回の小中合同での試合も難しくなってい
 る。
 (笑) 以前と違って、根拠強く指導している
 が、バレーボールクラブも人員が減少しチ
 ム編成に苦労している。

(空原) 桑連も都活 (中学) が休職状態で、生
 徒はユースで練習している。子供達の欲求に
 応える事が大事である。
 (佐藤) 少子化の中で、クラブの必要性が高ま
 っている。

(正浩) クラブを知ってもらい、必要性を如何
 に理解してもらうか、大変だと思う。

(正浩) 自分達が当事者であるので、自分の事
 として、自分達で責任をもって考え、行動し
 て欲しい!

(佐藤) 準備委員会は、クラブについてみんな
 で協議して作っていく。また準備委員会は、
 各部会 (総務、企画、研修、広報) とそれに
 協力してもらおう人々、アドバイザーで構成す
 る予定である。

これらの人選は、各分野から多くの人選に
 参加してもらえようように考えますので私の方
 に委せて欲しい。
 (全員) 一任委なしー

**加美町体育指導者委員中新田地区選出委
 員会議 (スポーツフェスティバル終了後)**

2003. 7. 6 (日) 14:00
 中新田体育館第三会議室
 出席 佐々木 (秀)、佐々木 (寛)
 佐々木 (縁)、佐々木 (寛)
 工藤 (浩)、三浦
 佐藤 (裕)、高秋

○スポーツクラブ化とNPO法人化について
 の体指の関わりについて

・高秋 (基金運用委員) より経過説明
 ・工藤 (兼体協会長) より旧体協運営委員会議
 の内容報告

・高正 (事務局) よりユーススポーツクラブ代
 表者会の内容報告
 ◇設立準備委員としての関わりは積極的に関
 与することを確認

◇基金の運用については、クラブ化・法
 人化のために運用することを承認

・旧体協の理事 (9名)、専門委員会所属の構成
 員だったことを認識

・振興基金造成にも体指委員会として加わっ
 た経緯を踏まえて運用については答申とお
 り了解。

◇クラブ化とNPO法人化の関連については
 各委員の統一見解までは到達していいなかつ
 たが、体指としてのこれまでの関わりを説
 明、了解された。多少誤解もあったが、ク
 ラブ化の真体系は全員が参画して考えるこ
 とを約した。

・加美町体育指導者委員会に積極的に参画する。
 町民についてもPRをすること等を確認し
 た。

打ち合わせ 2003. 7. 7 (月) 13:00

中新田体育館第三会議室
 出席 工藤 佐藤 高秋 高正
 ○準備委員候補者の確認作業
 ○旧体協理事会 (7月8日) の対応について
 ○今後の日程と準備会の進め方について

旧中新田町体育協会理事会会議録

2003. 7. 8 (火) 19:13開会

出席者 尾形理事長 早坂副理事長
 工藤会長 田中 (安) 中村 (千)
 今野 (寛) 細谷 佐々木 (寛)
 高橋 (宏) 高橋 (秋) 佐々木 (秀)
 米澤

○あいさつ 尾形旧理事長
 ・平成15年3月7日理事会で、スポーツ振興
 基金の取り扱いは基金運用委員会に
 付託することを決定

・平成15年3月15日臨時総会で、スポーツ
 振興基金の取り扱いについて、スポーツ振
 興基金運用委員会に付託することを承認。

・その後、スポーツ振興基金運用委員会選
 委員8名で構成する。

1回のペースで協議を行った。
 ・平成15年6月20日、旧理事、旧加協会長
 出席の中、スポーツ振興基金運用委員会よ
 り、答申の報告がなされた。

・平成15年6月30日、旧中新田町体育協会運
 営委員会を開催。スポーツ振興基金運用委
 員会の答申について、旧理事会で主体性を
 もって今後の対応を決定すべきであり、7
 月8日に旧理事会を開催することに決定。

・本日の旧理事会において、答申をふまえ、
 旧中新田町体育協会の進むべき姿を協議し
 てほしい。

○協議 座長 尾形理事長
 ・スポーツ振興基金運用委員会の答申の取り
 扱いについて

(中村千代志理事) 先日報告会では、スポー
 ツ振興基金運用委員会に任せただけではなかつ
 たのか。

(尾形理事長) スポーツ振興基金の取り扱
 いについては、あいさつで述べたとおりに解
 会において運用委員会に方向性を出してもら
 うように付託したものであり、答申を受けた
 以上旧理事会がその是非を決定すべきであ
 る。答申のとおりやるかやらないかは理事
 会で決定すべきである。

たが、準備委員は何人位必要なのか。
 (尾形) スポーツ振興基金運用委員会
 (委員) スポーツクラブ設立のため役割分担し
 ながら進めていかねばならないと思うの

で部会制を敷く必要があるだろう。したがって60人位は必要と思われ。

(早坂副理事長) 理事会は総会に次ぐ決定機関なので運用委員会の答申を受けるかどうか協議して決定すべきである。果たしてスポーツクラブが必要なものかどうか。我々が児童・生徒のスポーツ環境の整備を考えていても、学校は何も考えていない。

(尾形理事長) 週5日制になって児童生徒の生活環境は変化している。余暇時間をスポーツでできる環境の受け皿を作るべきではないか。学校がどのような考えであらうかと、町全体の幼児から高齢者に至るまでの生涯スポーツ振興のビジョンを作るべきではないか。生涯スポーツを充実させるためにもスポーツクラブの立ち上げに多くの町民の方に関わってもらわなければならない。

(理事) スポーツクラブは、町民に何をしてくれたいものなのか? スポーツ少年団がユーススポーツクラブになって、幼児スポーツ教室や親子スポーツ教室ができて、活動の幅が広がったことは承知しているが、スポーツクラブにして何ができるのか。

(尾形理事長) スポーツクラブが何をしてくるのではなく、町民がスポーツクラブに参画して何が出来るかだと思ふ。これからは、町民が主体性をもち、能動的に自らのスポーツ環境の整備に力を合わせていくべきと考へる。

(理事・基金運用委員会委員) スポーツクラブの設立によって、町民のスポーツニーズに応えることが出来ると思う。町民がやってみたいスポーツをサポート出来ると思う。スポーツクラブの企画・事業運営にも関わることだと思ふが、スポーツする町民の下支えもできるし、スポーツ人口の底辺が広がると思うので是非取り組んでほしい。

(理事) スポーツクラブをNPOにする利点は何か?

(理事・基金運用委員会委員) NPO法人化は、クラブの社会的信用が拡大する。toto(サッカーくじ)の助成も得られやすいし、町のスポーツ事業の委託やスポーツ施設の管理運営委託も受けられるだろう。また、収益事業を展開することによりスポーツ活動の財政基盤を強くすることも可能である。それらのことにより、町民によりよいスポーツ環境の整備やサービスを提供できると思う。

(尾形理事長) 自分で判断して行動できる大人はいいが、環境の中でしか行動できない子供たちのスポーツ環境の整備を図る必要がある。

(早坂副理事長) 私にも孫がいるが、孫は「空手」をやっていた。しかし、空手教室までの送迎が困難なため、両親は許可しなかった。たまたま小学校にサッカー教室があったので、孫はサッカーをやるようになったが、孫のスポーツ環境を充実してやれる環境がほしかった。

(尾形理事長) 送迎があれば問題はなかったでしょう。これから設立しようとするクラブは、それらも視野に入れたスポーツクラブになるんじゃないでしょうか。スポーツ少年団活動ができるのにも思っています。また子供たちだけの問題ではなく、高齢者もスポーツをすることで生きがいや健康を維持して暮らさざるを得ないことでも豊かな高齢化社会を築けるのではないのかなあ。そのためにも指導者を充実させて、マネージメントをしつつやることによってよりよいサービスを提供することができると考へる。

(理事) 今までの話の中で、児童生徒の部活動やスポーツ少年団の話がありましたけれども一つの種目をずっとやるということも必要だと思ふますが、より多くの種目を経験してスポーツに親しんで、スポーツの楽しさを享受できるのが今 私たちが考えているスポーツクラブの活動ではないでしょうか。スポーツクラブを立ち上げ、NPOにするによって様々な事業展開ができる。なおかつ、経済的基盤の確立ができれば、スポーツ環境は充実させることができると思ふます。是非スポーツクラブの設立を目指してがんばるべきと思ふのです。

(尾形理事長) いいことは分かっているんだから、町民に説明し、もっとPRしていくべきと思う。

(早坂副理事長) 総合型地域スポーツクラブがよいということ、平成7年度から文部科学省で事業展開しているが、設立が進んでいないのではないかと。私たちがスポーツクラブとはどんなものかよく理解していないので、スポーツ振興基金運用委員会の答申を判断するために、スポーツクラブの先進地に研修に

行くべきではないか。それから今後のことについて結論を出してもいいのではないかと。

(尾形理事長) スポーツクラブ設立の準備と併行して研修を通して理解してはどうか。

(早坂副理事長) それでもいいと思います。必要性と方向性は理解できるのだからスポーツクラブの設立に向けて進んでもいいと思ふます。

(尾形理事長) それではお諮りします。スポーツ振興基金運用委員会の答申のとおり、スポーツクラブ設立に向けてスポーツ振興基金を活用していくことでよろしいですか。

(理事) 承認

○今後の進め方について
・スポーツ振興基金運用委員会が軸になって設立準備委員会のメンバー選出。

・旧中野町体育協会役員については、準備委員会へ参画することを検討。
・設立準備委員会のメンバーリストアップについては、7月20日まで行うよう基金委員会にお願いする。

(工藤・旧体協委員) 答申報告会に至るまでの手続に反省がある。解散後時に基金運用委員会に付託する内容と体協の考え方を明確にすべきだった。方向性も含めて概要要求のような形になってしまったと思う。

しかし旧体協としては、解散したとはいえ基金についての責任はある。メンバーの統一した意見の集約は必要だ。集約を改革する必要がある。クラブ設立に向けた話し合いは就くはずで、設立準備委員会のメンバーとして積極的に関わって行くことを確認したい。この会議の意見を重視してクラブ設立に向けた話方策を考えたい。統一した加藤町体協としても将来を見つめる材料としてスポーツクラブ化はきざけて通れない問題であり、その意味で互いに刺激し合うことになる。

打ち合わせ 2003. 7. 9 (水) 13:00~

中野町体育協第三会議室
出席 工藤 佐藤 高秋 高正

○旧体協理事会の内容検討
・準備委員会候補メンバーの再検討
・旧体協理事、体指、ユース、旧振興委員会については準備委員会メンバーとして参画することと個別の話し合いの必要はなくなり、

準備委員会で協議する。必要に応じて話し合いの機会は設けることがある。

○視察(7月14日・福島県双葉町、楢葉町スポーツクラブ) について
参加予定者 工藤、佐藤、高秋、高正の4名

加美町生涯学習推進員中新田地区選出推進員説明会

2003. 7. 10 (木) 19:00
加美町中新田公民館第1・第2会議室
出席推進員 20名

○運用委員会の答申内容の説明
……工藤清悦運用委員
○質疑応答 外

視察「福島県双葉ふれあいクラブ」及び「ならはスポーツクラブ」

2003. 7. 14 (月) 6:30~
参加 佐藤、高秋、高正

○NPO法人「双葉ふれあいクラブ」

福島県双葉郡双葉町大字長塚字東木41-1
TEL 0240-23-0120 FAX 0240-23-0121

○双葉町の概要
双葉郡の北部(相馬市といわき市の中間)、東京電力(株)福島第一原子力発電所設置、人口7,647人(H14.12現在)、世帯数2,474戸、面積61.40km²、国道6号線とJR常磐線が町内を平行して南北を縦断、学校(高校1、中学校1、小学校2、幼稚園1)

○社会体育の状況

・双葉町体育協会—会長・町長、加盟20団体
・体育指導委員—13名
・スポーツ少年団—8団(平成11年スポーツ少年団連絡協議会設立)
・体育協力員—19名(13行政区 19名) …町民体育祭の手伝い等

・年間行事 名所めぐりハイキング 家庭婦人バレーボール大会 町民体育祭町民ナイターソフトボール大会 双葉町わんぱく相撲大会 元日歩け歩け運動・マラソン大会 町民スキー教室 地区対抗グラウンドゴルフ・インディアカ大会 町民卓球大会 ☆スポーツ教室 ……年2回スキー教室
○活動施設
・町体育施設

クラブハウス (事務室、会議室、談話室)
 ・……町との無償契約
 中学校体育館 (バスケット) 中学校武道館 (IF:剣道場、柔道場・2F卓球場)
 中学校グラウンド 北小体育館 南小体育館 町公民館・体育館
 ヘルスケアふたば (トレニング室)
 総合公園多目的グラウンド 総合公園テニスコート (6面・夜間照明) 町民グラウンド (夜間照明)
 ・民間施設 ナミエボウル (ボウリングセンター) クル参加時は会員無料
 ○スポーツクラブモデル事業
 ・平成11年4月 (財)福島県スポーツ振興基金助成事業「複合型地域スポーツクラブ育成モデル事業」
 ・平成12年4月文部科学省「総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業」
 ・平成12年4月23日「双葉ふれあいクラブ」設立
 ○クラブの運営
 ・設立準備委員会 (16名) 一スポ少協理事8名、体協理事長、体指委員長、小・中校長3名 (途中から教頭に要更)、子供育成会2名、一般指導者
 ・企画運営委員会
 会長1名、ジェネラルマネージャー1名
 委員一準備委員から14名、中学校長1名、小学校長2名、体指3名
 幹事一準備委員から1名、スポ少協会計1名
 監事一準備委員から1名、一般会員1名
 ○組織
 ・スポーツスクーラー一子連の選手育成教室 (少年団)
 ・スポーツスクーラー部合に合わせ楽しむ教室 (スポ少に参加しない子への対応)
 ・イベント活動部一ボランティア活動・スポーツイベント (会員の交流)
 ・広報部一広報紙の発行、活動内容パンフレットの作成
 ・会費 (年会費)
 町内大人 5,000円 町内子ども 4,000円 (幼稚園以上中学生以下)
 町外大人 6,000円 町外子ども 4,800円
 保険代 大人1,400円 子ども 450円
 ・少年団員の加盟5,000円のうち2,000円は団に還元 (バック)

・町体育施設及び公民館管理業務委託 (土日、祝日、平日夜間警備含む)
 クラブで管理人員を雇用し管理に当る。
 ・……委託管理費 (町) 年額6,000,000円
 ・平成13年度から企画運営委員会に出す事業の検討をする「事業作成委員会」を設置 (イベント等の年間計画立案と予算措置の検討)
 委員一会長、ジェネラルマネージャー、教委2名、事務部3名、幹事、スポ少協理事、専業、サークル部長 (18サークルの代表)、一般会員1名
 ◎クラブ設立に向けて苦勞した点
 ・スポ少の保護者の理解を得ること……公民館長が何度も説明におもむく。
 ・莫大な助成金の使途などに行政の力を借りた。
 ・「総合型」のイメージ描画が不足、理念の共有が不確実
 ・運営委員、指導者等の人材確保に苦慮
 ◎助成金等の収入
 平成11年 複合型 年額100万円 (町20万円)
 平成12年~14年 国600万円+町600万円を3年間
 平成15年 町単独 年600万円
 toto 490万円 (800万円申請)
 ◎職員等の賃金・事業補助等
 常勤職員2名 (10時~19時)
 時給800円 (月額14~5万円)
 パート2名 (10時~17時)
 時給770円 スクール指導者 スポ少16人まで1人
 15,000円 (年) ……8団
 サークル指導者 1回1,000円 (1項目複数指導者でも1,000円)
 指導者養成 年3人分全額補助で資格取得を奨励
 町のバス……大会・イベント等の送迎、選手手付で無料
 ◎NPO法人化
 平成14年12月24日申請 平成15年3月19日取証 平成15年4月1日設立
 ◎会員数 12年度一394名 (内子ども194名) 13年度一639名 (内子ども237名) 14年度一782名 (内297名)
 ◎ならはらスポーツクラブ

双葉郡楳葉町大字北田産実5番地の5
 TEL 0240-26-0076 FAX 0240-26-0088
 ○楳葉町の概要
 双葉町より南へ20km、人口8,000人の町。工業団地が2ヶ所あり、原発はないが東京電力に依存した企業がある。
 ○スポーツ施設
 ・クラブハウス……町民体育館に事務室
 ・総合グラウンド・小学校2校・中学校1校
 ・公民館・天神岬オートキャンプ場 (楳葉町振興公社)
 ・ナショナルトレレニングセンター
 ・「VILLAGE」(東京電力)
 ○スポーツクラブ設立までの経過
 平成13年2月14日 設立準備委員会発足
 ゴルフ練習開設 交流フットサル大会
 スポーツ少年団指導者・体育協会代表者と懇話会開催
 平成13年10月1日 スポーツクラブ実行委員会発足
 各団体に説明会及び報告会の開催 (体協、体指) 小・中学校アンケート調査
 平成14年1月25日 スポーツボランティア7募集
 平成14年2月20日 クラブ名募集
 平成14年4月27日 設立総会
 平成14年5月7日 プログラム開始
 ○組織
 ・運営委員会二会長、副会長、ジェネラルマネージャー、理事3名、監事2名
 企画正副部長、広報正副部長、イベント正副部長、メディアカル正副部長、財務正副部長、事務局クラブマネージャー2名 (計22名)
 ・専門部会二企画部4名、広報部2名、財務部2部7名、メディアカル部2名、財務部2名
 ○クラブの方針と会費
 スポーツ少年団、体育協会とは別に、スポーツを楽しむとす町民を対象として立ち上げた。気軽に、手軽に、どこでも仲間とスポーツを楽しむ環境づくり。ニュースポーツ・レクリエーションスポーツ等の教室開催中でも「楳葉山」は高齢者にも人気、高齢会員のほとんどはこの教室参加
 ・会費一高校生一一般 3,000円、小・中学生1,500円
 5,000円に値上げしたいが抵抗がある。

○会員数 平成14年度467名 (男235名、女232名) 15年度346名 (7月現在)
 ・Jガイレッジの法人会費年額50万円を支払いい、1日1,500円の利用料金を会員利用の場合、1日500円にするよう交渉中
 ○教室数20 平日利用会員 Jガイレッジ利用会員 平成14年度延べ5,280名
 ・プログラム 20種目 (内親子プログラム4種目) イベント5回 (予定)
 ・受講料のあるプログラム一ソフトエアロピタス (1回500円)、ゴルフ (1回1,000円)、軽登山 (1回500円)
 ○toto 助成
 平成14年度 900万円
 平成15年度 6,175,000円+町440,000円 = 6,615,000円
 ・クラブマネージャー (2人) の給与 (toto) 110,000円 (1人月額) ×2人=220,000円 (年額264万円)
第4回発起人会
 2003.7.15 (火) 19:00
 中新田体育館第三会議室
 出席 工藤、佐藤、佐々木、米澤、高秋、高正
 ○視察研修 (双葉町・楳葉町) の報告
 ○準備委員の候補者の検討
 ○クラブの周知徹底のための打ち合わせ会の開催について
 ○準備委員会の日程の検討
第5回発起人会
 2003.7.2 (火) 19:00
 中新田体育館第三会議室
 出席 佐々木、米澤、高秋
 ○準備委員会の詳細日程検討
 ○準備委員会打ち合わせ会の内容検討
第6回発起人会
 2003.7.26 (土) 16:00
 中新田体育館第三会議室
 出席 工藤、佐々木、高秋、高正
 ○準備委員会打ち合わせ会の資料検討
 ○打ち合わせ会の進行について
 ○クラブのネーミング募集について

第7回発起人会

2003. 8. 1 (金) 13:30

中新田体育館第三会議室

出席 工藤 佐藤 高秋 高正

○8月11日の準備委員会の検討

- ・総会次第の内容について
- ・出席者の処遇…来賓や会場の設定
- ・アドバイザーとオブザーバーへの案内状送付

直接お伺いして就任依頼と内容の説明資料も同時送付

○佐々木正浩氏の発起人会への臨時参加

- ・様々な面で提言をもらう。(特にJリーグについて) 研修地のこと、基盤となるクラブ運営等々。
- ・準備委員の陣容について

- ・企業経営感覚を備えた人
 - ・機器の操作技術(パソコン等)を備えた人
 - ・渉外活動の得意な人等が望ましい。
- アドバイザー・オブザーバーを置いたことの評価



準備委員会スタート

第8回発起人会

2003. 8. 4 (月) 13:30

中新田体育館第三会議室

出席 工藤 佐藤 高秋

○準備委員候補者にクラブ理念の周知方について

- 専門部会の役割と所属について
 - クラブの将来方針について
 - 次回発起人会の期日について
- ……8月6日に決定

第9回発起人会

2003. 8. 6 (水) 13:30

中新田体育館第3会議室

出席 工藤 佐藤 高秋 高正

- 準備委員会総会の次第確認
- 準備委員会総会資料の確認
- クラブの今後の歩みについて



第10回発起人会

2003. 8. 9 (土) 19:00

中新田体育館第三会議室

出席 工藤 佐藤 米澤

- 準備委員会総会資料の検討
- 発起人会の実質的存続の意味の確認
- クラブマネージャー、事務局の人材について

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(特定非営利活動法人ジョイナス)

(円)

I 経営収入の部				
1 会 費				
登録会員会費収入	1,916,000			平成16年分 1,515,000円 平成17年分 401,000円
正会員会費収入	50,000			10人×5,000円
賛助会員会費収入	610,900			スポンサ 400,000円 理事・運営委員207,900円 その他 3,000円
法人会員会費収入	0	2,576,900		
2 事業収入				
物販事業収入	211,300	211,300		資料代 77人×2,000円 トレーニング 57,300円
3 助成金収入				
スポーツ振興くじ助成金	4,000,000	4,000,000		未収金 1,000,000円 入金5月末
4 受取利息		2		古信普通預金
当期収入合計(A)			6,788,202	
前期繰越収支差額			0	
収入合計(B)			6,788,202	
II 経営支出の部				
運営費及び管理費				
諸 謝 費	2,449,800			講師 4人 96,000 指導者 2,042,800 理事・運営委員 231,000 税理士・弁護士 80,000
旅 費	96,333			ガソリン 9,248 講師 87,085
リ ー ス 費	324,324			三洋リース 299,760 電話 24,564
消 耗 品 費	744,259			事務消耗品 263,949 スポーツ消耗品 480,310
備 品 費	335,805			事務備品 42,300 スポーツ備品 293,505
印刷製本費	427,155			事務用 44,000 広報事業 297,465 研修事業 86,690
通信運搬費	363,183			郵便代 143,070 電話代 120,113
支払保険料	194,500			スポーツ安全保険 平成16年分 158,000 平成17年分 36,500
賃 金	1,200,000			クラブマネジャー 100,000×12ヶ月
会 議 費	36,607			研修講師 お茶、軽食
雑 費	210,402			保険、金費、カメラ、お茶、登記簿 本 バス賃借料等
当期支出合計(C)			6,382,368	
当期収支差額(A)-(C)			405,834	
次期繰越収支差額(B)-(C)			405,834	

平成16年度 財産目録

平成17年3月31日現在

(特定非営利活動法人 ジョイナス)

科目・摘要	金額 (円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	166,500	
普通預金	七十七銀行 中新田支店	667,140	
	古川信用組合 中新田支店	1,143,284	
未収入金			
スポーツ振興くじ助成金		1,000,000	
流動資産合計			2,976,924
資産合計(A)			2,976,924
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	指導者謝金・その他	2,537,800	
預かり金	源泉所得税	33,290	
流動負債合計			2,571,090
負債合計(B)			2,571,090
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			0
当期正味財産増加額(減少額)			405,834
正味財産合計(C=A-B)			405,834

特 別 会 計

(スポーツ振興基金引継ぎ残高)

平成17年3月31日現在 (円)

①	加美よつば農業協同組合 中新田支店 (No.)	定期預金	7,575,074円
②	加美よつば農業協同組合 中新田支店 (No.)	普通預金 利息用	3,939円
③	七十七銀行 中新田支店 (No. 2)	定期預金	5,800,000円
④	七十七銀行 中新田支店 (No.)	普通預金 利息用	36,114円

13,415,127円

{	内訳	定期預金	13,375,074円
		普通預金	40,053円
			(13,415,127円)

監査報告書

平成16年度ジョイナスの事業状況及び収入支出決算について、平成17年5月14日諸帳簿及び証拠書類等の提出を受け監査をした結果、事業及び会計の執行状況並びに運営は適切であり、且つ、関係諸帳簿及び証拠書類等は適切と認めたことをここに報告いたします。

平成17年5月14日

監事 遠藤 幸貞

監事 伊藤 勝喜

監事 森 健一

NPO法人ジョイナス

理事長 工藤 清悦 殿

2005年度特定非営利活動法人ジョイナス定時総会議事録

2005年5月16日 19:06開会

於 加美町中新田公民館
進行 菅原博志 (社員)

本総会の成立要件についてクラブラマネージャーより報告。社員全員の出席があり、本総会は成立した。

- あいさつ 理事長 工藤清悦
- 祝辞 加美町町長 屋明朝様
加美町教育委員会教育長 (代理) 三浦又英様
加美町スポーツ少年団団長 佐藤澄男様
- 議長選出
仮議長として工藤清悦 (理事長) が席に着く。選任の方法を問うに、会場より仮議長一任の声あり。仮議長それを会場に問うたところ、全員異議なく賛成したので、工藤清悦議長は下記の者を指名し、満場異議なく賛成し本人も承諾した (定款第26条)。
議長 福地 秀一 選任された福地秀一は議長席に着き、議事に入る。
併せて、理事幹事名人の選出が断られ、次の2名が承諾した。
田中 安友 残間登紀江

4. 議長は、総会案内に記載された議案通り下記の議案を提示した。
第1号議案 平成16年度特定非営利活動法人ジョイナス事業報告について
・企画事業副都会長高津秋雄は、事業報告を行い、運営委員会・部会・その他の会議内容について総務部会長佐々木秀一が資料に従い報告する。

議長は、関連する第2号議案についての説明を求めた。
第2号議案 平成16年度特定非営利活動法人ジョイナス収支決算書の承認について、佐藤弘美財務部会長が詳細に説明した。次いで、監事を代表して伊藤勝善が監査の結果を報告し、適正に処理されている旨を述べた。

議長は、第1号議案、第2号議案の内容について質問、意見を求め、担当役員や工藤理事長が応答し、一括して二つの議案の承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

第3号議案 平成17年度特定非営利活動法人ジョイナス事業計画 (案) の承認について
第4号議案 平成17年度特定非営利活動法人ジョイナス収支予算 (案) の承認について
福地議長は、第3号、第4号議案は関連することと判断、一括して提案を促し、共に説明が各関係部会から説明がなされた。秋彦事業重点事業について各部会から説明があり、質問応答に入る。

二、三の質問が出されて理事長が応答した。
福地議長は、これらの議案の承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。
第5号議案 役員選任について

福地議長は、本法定款第13条第1項により理事及び監事の選任並びに同条第2項により理事長、副理事長の選任の必要があることを述べ、その選任方法についてに会場に問うた。また、理事 (副理事長) 佐藤弘美は退任を表明し、また監事伊藤勝善も退任を表明しているため、その処遇について協議した。議長は、一同に落ちたところ、全員異議なく承認、両名は退任した。

米澤社員より、後任も含めてその人選については現理事長より提案願いたい旨の発言があり、そ

れを会場に問うたところ全員それを支持したので、理事長は、下記の者を理事及び監事候補として提示。議長は、その承認を求めたところ全員異議なく承認可決し、理事、監事全員の就任を承諾した。

議長は、定款第13条第2項については理事長・副理事長は理事の互選になることから、別室で協議することと要請、この総会は一時休会とした。

協議を終えた理事を迎えた議長は、20時06分総会の再開を宣し、理事を代表して工藤清悦が理事長、副理事長選任の経過及び結果を報告し、その就任は原案とおりに承認され、それぞれの理事長、副理事長も就任を承諾した。また、監事もその就任を承諾した。

理 事	事	監 事
理事長 副理事長 副理事長	悦一 清秀 工藤木々々 佐田菅 菅三 高米 残新 尾	任 " " " " 任 " " " " 任 " " " "
	安文志里子雄之 博博秋康之 淳秋康之 海野間田 田形	林次生 義幸生
	再任 " " " " 再任 " " " " 再任 " " " "	再任 再任 再任

議長は、運営委員会及び専門委員会についての各委員については、運営委員会規程により理事長の任免事項が適用されるため、後日招集する運営委員会に委ねることを述べ、本総会の議事の一切は終了したので、20時24分閉会を宣言した。

本日の議事の経過並びに結果を明確にするため議事録を作成し、議長及び理事幹事名人は記名押印してジョイナスに保存する。

平成17年5月16日

議長 福地秀一
理事幹事名人 残間登紀江
理事幹事名人 田中安友

平成17年度 収支決算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(特定非営利活動法人 ジョイナス)

科 目	金 額(単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1.会費・入会金収入			
登録会員会費収入	1,427,000		
正会員・賛助会員会費収入	403,000		
法人会員会費			
		1,830,000	
2.事業収入			
スポーツイベント事業収入	147,800		
物販事業収入	11,640		
		159,440	
3.助成金収入			
スポーツ振興くじ助成金	1,442,000		
その他の助成金	450,000		
		1,892,000	
4.寄付金収入			
	0	0	
5.受取利息	11		
		11	
経常収入合計			3,881,451
II 経常支出の部			
1.運営費及び管理費			
諸謝金	1,120,040		
旅費	102,016		
借料及び損料	299,760		
消耗品	548,142		
備品	52,000		
印刷製本費	125,325		
通信運搬費	266,496		
支払保険料	84,190		
賃金	1,200,000		
会議費	11,490		
雑費	91,238		
経常支出合計		3,900,697	3,900,697
経常収支差額			△19,246
当期収支差額			△19,246
前期繰越収支差額			405,834
次期繰越収支差額			386,588

収益事業の有無 なし

平成17年度 貸借対照表

平成18年3月31日現在

(特定非営利活動法人・ジョイナス)

科目・摘要	金額 (円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	28,368		
普通預金 七十七銀行 中新田支店	239,019		
普通預金 古川信用組合 中新田支店	771,532		
未収入金	442,000		
流動資産合計		1,480,919	
資産合計			1,480,919
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金 謝金	724,321		
前受金 会費	344,000		
預り金 源泉所得税	26,010		
流動負債合計		1,094,331	
負債合計			1,094,331
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	405,834		
当期正味財産増加額(減少額)	△19,246		
正味財産合計		386,588	
正味財産合計			386,588
負債及び正味財産合計			1,480,919

平成17年度 財産目録

平成18年3月31日現在

(特定非営利活動法人 ジョイナス)

科目・摘要	金額 (円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	28,368	
普通預金	七十七銀行 中新田支 古川信用組合 中新田支	239,019 771,532	
未収入金			
スポーツ振興くじ助成金		442,000	
流動資産合計			1,480,919
資産合計			1,480,919
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	(指導者謝金)	724,321	
前受金	(会費)	344,000	
預り金	(源泉所得税)	26,010	
流動負債合計			1,094,331
負債合計			1,094,331
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		405,834	
当期正味財産増加額(減少額)		△19,246	
正味財産合計			386,588

特別会計

(スポーツ振興基金引継ぎ残高)

平成18年3月31日現在 (円)

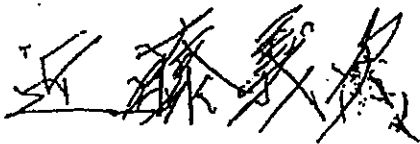
①	加美よつば農業協同組合 (No.)	中新田支店	定期預金		7,000,000									
②	加美よつば農業協同組合 (No.)	中新田支店	普通預金	利息用	580,074									
③	七十七銀行 (No.)	中新田支店	定期預金		5,800,000									
④	七十七銀行 (No.)	中新田支店	普通預金	利息用	36,114									
					13,416,188									
<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> { <table style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">内訳</td> <td style="padding-right: 10px;">定期預金</td> <td style="text-align: right;">12,800,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>普通預金</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">616,188</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;">13,416,188</td> </tr> </table> } </div>					内訳	定期預金	12,800,000		普通預金	616,188			13,416,188	
内訳	定期預金	12,800,000												
	普通預金	616,188												
		13,416,188												

監査報告書

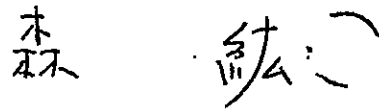
平成17年度特定非営利活動法人ジョイナスの事業状況及び収入支出決算について、平成18年5月17日諸帳簿及び証拠書類等の提出を受け監査をした結果、事業及び会計の執行状況並びに運営は適切であり、且つ、関係諸帳簿及び証拠書類等は適切と認めたことをここに報告いたします。

平成18年5月17日

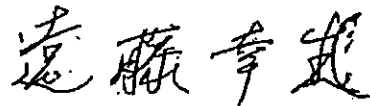
監事



監事



監事



特定非営利法人ジョイナス

理事長 工藤清悦 殿

特定非営利活動法人ジョイナス平成18年度通常総会 議事録

日時：平成18年5月19日 19時開会

場所：加美町中新田公民館会議室

○出席報告

20名、(内、委任状出席4名)

尾形クラブマネージャーより、総会成立の報告

○佐々木秀一氏が開会を宣言し、理事長より開会の挨拶、星町長より挨拶を戴き、議長選出に入る。

○議長選出

工藤理事長が仮議長となり、議長選出方法を会議に諮ったところ、出席会員より仮議長一任の発言があり、全員異議なく承認。仮議長は、田中篤雄氏を指名し、全員承認した。議長は議案審議に先立ち、議事録署名人2名の選任を諮ったところ、議長指名の発言があり、議長は議長指名を諮ったところ、全員承認。議長は、佐々木強氏、遠藤祐子氏を指名、両氏とも就任を承諾した。

議 事

第1号議案 平成17年度特定非営利活動法人ジョイナス事業報告の承認について

議長は本議案の説明を求め、運営関係については佐々木秀一総務部会長、事業については米澤康之企画事業部会長が資料に基づいて説明した。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

第2号議案 平成17年度特定非営利活動法人ジョイナス収支決算書の承認について

議長は本議案の説明を求め、佐々木嘉昭財務副部会長が資料に基づいて説明した。次いで、森紡監事が監事を代表して監査の結果を報告し、適正に処理されている旨の報告があった。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

第3号議案 平成18年度特定非営利活動法人ジョイナス事業計画(案)の承認について

議長は本議案の説明を求め、運営関係については佐々木秀一総務部会長、事業については米澤康之企画事業部会長が資料に基づいて説明した。議長は本議案について質問を求めたところ、教習事業の運営について質問がなされた。理事長は、教室事業は町民のスポーツニーズに添える重要な事業と位置づけ、ジョイナス活動の理解を深めてもらう効果的な事業であり、指導者の確保も願望に込んでいると説明し、理解を求めた。議長は本議案の承認を求めたところ、可決された。

第4号議案 平成18年度特定非営利活動法人ジョイナス収支予算(案)の承認について
議長は本議案の説明を求め、佐々木嘉昭財務副部会長が資料に基づいて説明した。議長は本議案について質問を求めたところ、toto助成金の減額がジョイナス運営に与える影響について質問がなされた。理事長は、自主財源の確保や収支バランスのとれた事業運営を行っていくと理解を求めた。議長は本議案の承認を求めたところ、可決された。

議長は本総会の議案審議を終了したことを宣言し、20時30分、議事を閉じた。

この議事録を明瞭であることを証するため、議長及び議事録署名人が記名押印して保存する。
平成18年5月19日

議 長 田中篤雄
議事録署名人 遠藤祐子
議事録署名人 佐々木強

平成18年度 特定非営利活動に係わる事業会計収支計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(特定非営利活動法人ジョイナス)

単位 円

I 経営収入の部

1 会費					
登録会員会費収入	1,488,000			514名	
正会員会費収入	130,000			個人22名	110,000 2団体 20,000
賛助会員会費収入	321,000			個人19名	81,000 34団体 240,000
法人会員会費収入					
		1,939,000			
2 事業収入					
物販事業収入	547,025	547,025		事業収入	542,800 資料代等 4,225
3 寄付金					
寄付金	178,930	178,930		寄付金	160,930 ワンコイン 18,000
4 助成金収入					
スポーツ振興くじ助成	800,000	800,000		未収金	100,000 18年度分 700,000
5 受取利息					
	289	289		七十七	237 古債 52
当期収入合計(A)			3,465,244		
前期繰越収支差額			386,588		
収入合計(B)			3,851,832		

II 経営支出の部

1 運営費及び管理費					
諸謝金	874,040			講師他	283,800 指導者 590,240
旅費	37,550			講師等	37,550
リース費	299,760			パソコン等	@24980 × 12ヶ月
消耗品費	248,788			事務局消耗品	154,986 実費燃料代 69,150
				教室・研修事業消耗品	24,652
備品費	15,000			掲示板	15,000
印刷製本費	242,702			事務局印刷費	52,000
				広報印刷費	190,702
通信運搬費	271,777			電話代	170,177 郵券代 101,600
支払保険料	76,590			賠償・傷害・労働保険	69,590
				保険	7,000
賃金	1,420,000			クラブマネジャー	@100,000 × 1ヶ月
					@120,000 × 11ヶ月
会議費	3,008			研修講師 お茶、軽食	
雑費	117,280			書類作成費	44,000 金銭・手数料明証書 26,065
				平買買値・電子代金	27,215 郵便 20,000
当期支出合計(C)			3,608,495		
当期収支差額(A)-(C)			▲ 141,251		
次期繰越収支差額(B)-(C)			245,337		

平成18年度貸借対照表

平成19年3月31日現在

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科 目	摘 要	金額 (円)	
I	資産の部		
	1. 流動資産		
	現金	50,671	
	普通預金 七十七銀行 中新田支店	401,575	
	普通預金 古川信用組合 中新田支店	508,261	
	未収入金	100,000	
	流動資産合計		1,060,507
	資産合計(A)		1,060,507
II	負債の部		
	1. 流動負債		
	未払い金 謝金	590,240	
	前受金 会費	200,000	
	預り金 源泉所得税	24,930	
	流動負債合計		815,170
	負債合計(B)		815,170
III	正味財産の部		
	前期繰越正味財産	386,588	
	当期正味財産増加額(減少額) Δ	141,251	
	正味財産合計		245,337
	正味財産合計		245,337
	負債及び正味財産合計		1,060,507

平成18年度財産目録

平成19年3月31日現在

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科 目	摘 要	金額 (円)	
I	資産の部		
	1. 流動資産		
	現金	50,671	
	普通預金 七十七銀行 中新田支店	401,575	
	普通預金 古川信用組合 中新田支店	508,261	
	未収入金	100,000	
	流動資産合計		1,060,507
	資産合計(A)		1,060,507
II	負債の部		
	1. 流動負債		
	未払い金 謝金	590,240	
	前受金 会費	200,000	
	預り金 源泉所得税	24,930	
	流動負債合計		815,170
	負債合計(B)		815,170
III	正味財産の部		
	前期繰越正味財産	386,588	
	当期正味財産増加額(減少額) Δ	141,251	
	正味財産合計		245,337
	正味財産合計		245,337
	負債及び正味財産合計		1,060,507

特 別 会 計

(スポーツ振興基金引継残高)

平成19年3月31日現在

JA加美よつば農業共同組合		
中新田支店	定期預金 NO. 〃	7,000,000 円
中新田支店	普通預金 NO.	508,217 円
七十七銀行		
中新田支店	定期預金 NO. 〃	5,805,310 円
中新田支店	普通預金 NO.	36,132 円
総合計		13,349,659 円
定期預金合計		12,805,310 円
普通預金合計		544,349 円
平成18年3月31日現在残高		13,416,188 円
平成19年3月31日現在残高		13,349,659 円
差引正味財産増減額 Δ		66,529 円
(平成18年度正味財産減少額		66,529円)

監査報告書

平成18年度特定非営利活動法人ジョイナスの事業状況及び収入支出決算について、平成19年5月14日諸帳簿及び証拠書類等の提出を受け監査をした結果、事業及び会計の執行状況並びに運営は適切であり、且つ、関係諸帳簿及び証拠書類等は適切と認めたことをここに報告いたします。

平成19年5月14日

監事 近藤義次

監事 森 誠

監事 遠藤幸雄

特定非営利法人ジョイナス

理事長 工藤清悦 殿

特定非営利活動法人ジョイナス平成19年度通常総会 議事録

日時:平成19年5月25日 19時30分開会

場所:加美町中新田公民館 研修室

○ 出席報告 出席者18名 (内、委任状出席 7名)
尾形クワブマネージャーより、総会成立の報告、篠間登紀江氏が開会を宣言する。

○挨拶 理事長 工藤 清悦

○挨拶 加美町教育委員会教育長代理、加美町体育振興課 三浦課長

○ 議長選出

工藤理事長が仮議長となり、議長選出方法を諮ったところ、出席会員より仮議長一任との発言があり、仮議長は、尾形明氏を指名し、全員異議なく承認した。

尾形議長は、議案審議に先立ち、議事録署名人2名の選任を諮ったところ、議長指名の声があり、議長は議長指名を諮ったところ、全員承認。議長は、福地俊一氏、田中篤雄氏を指名、両氏とも就任を承諾した。

議事

第1号議案 平成18年度事業報告について

議長は、本議案の説明を求め、運営関係及び事業について運営委員会委員長 米澤康之より資料に基づいて説明した。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

第2号議案 平成18年度収支決算の承認について

議長は、本議案の説明を求め、総財務部会長代理工藤康博より資料に基づいて説明した。

次いで、近藤義次監事が監事を代表して監査の報告をし、適正に処理されている旨の報告があった。

議長は本議案について質問を求めたが全員異議なく承認した。

第3号議案 平成19年度事業計画(案)について

議長は、本議案の説明を求めた。定款の規程により工藤理事長から資料に基づき説明した。

議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認された。

第4号議案 平成19年度収支予算書(案)について

議長は、本議案について説明を求めた。工藤理事長より資料に基づき説明した。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認された。

第5号議案 役員選任について

議長は、本議案について説明を求めた。

工藤理事長が、定款にない役員定数と選任方法を説明した。現理事、監事は平成19年5月16日をもって任期が満了したので、後任者の選任を行う必要があるため選出してほしい旨を説明した。また、理事青原博志、理事三浦洋子、理事新田祐一は退任を表明している。その処遇について求めた。議長は一同に諮ったところ、全員異議なく承認。三名は退任した。議長は、任期満了に伴う役員の選出方法を諮ったところ、執行部一任の声があり、全員異議なく承認された。理事長は、下記の者を理事及び監事候補として提示した。

理事		監事	
工藤 清悦	再任	近藤 義次	再任
佐々木 秀一	再任	森 紘	再任
田中 安友	再任	遠藤 幸生	再任
米澤 康之	再任		
高橋 秋雄	再任		
菅原 里	再任		
篠間 登紀江	再任		
尾形 敦子	再任		

議長は、その承認を求めたところ全員異議なく承認可決した。

承認された理事、監事全員はその就任を承諾した。

議長は本日の議案は終了したので、20時40分、議事を閉めた。

この議事録が明確であることを証する為、議長及び議事録署名人が署名押印して保存する。

平成19年5月25日

議長

議事録署名人

議事録署名人

尾形 明
尾形 篤雄
福地 俊一

平成19年度 特定非営利活動ジョイナス決算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

単位 円

I 経営収入の部

1 会費			
登録会員会費収入	1,502,500		
正会員会費収入	55,000		
賛助会員会費収入	135,000		
法人会員会費収入			
		1,692,500	
2 事業収入			
物販事業収入	857,000	857,000	教室・イベント事業
3 寄付金			
寄付金	75,368	75,368	寄付金・ワンコイン
4 雑収入			
	94,017	94,017	受取利息、コピー代等
5 基金繰入金			
	700,000	700,000	振興基金 700,000
当期収入合計(A)		3,418,885	
前期繰越収支差額		245,337	
収入合計(B)		3,664,222	

II 経営支出の部

1 運営費及び管理費			
諸謝金	869,690		スクール・サークル謝金 478,350 教室・シニア謝金 391,340
旅費	155,269		移動旅費 106,263 教室・研修旅費 49,006
リース費	320,810		パソコン・コピーリース代 300,810 バス借上げ代 20,000
消耗品費	160,140		コピー代 107,049 事務用品 53,091
備品費	14,223		テーブル・イス 14,223
印刷製本費	114,075		会員募集チラシ 68,250 機関紙 他 45,825
通信運搬費	235,116		電話代 157,436 郵便代 77,680
賃金	1,440,000		クラブマネジャー
会議費	5,345		講師飲食代 5,345
支払保険料	56,760		賠償・傷害保険 47,510 教室・イベント保険 9,250
法定福利費	33,431		労働保険
雑費	110,688		手数料・料理講座材料費他 96,408 スポーツ安全保険振込手数料 14,280
当期支出合計(C)		3,515,547	
当期収支差額(A) - (C)		△96,662	
次期繰越収支差額(B) - (C)		148,675	

平成19年度貸借対照表

平成20年3月31日現在

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科 目	摘 要	金額 (円)	
I	資産の部		
	1. 流動資産		
	現金	134,661	
	普通預金 七十七銀行 中新田支店	22,895	
	普通預金 古川信用組合 中新田支店	625,740	
	流動資産合計		783,296
	資産合計(A)		783,296
II	負債の部		
	1. 流動負債		
	未払い金 謝金	478,350	
	前受金 会費	133,000	
	預り金 源泉所得税	23,271	
	流動負債合計		634,621
	負債合計(B)		634,621
III	正味財産の部		
	前期繰越正味財産	245,337	
	当期正味財産増加額(減少額) △	96,662	
	正味財産合計		148,675
	正味財産合計		148,675
	負債及び正味財産合計		783,296

平成19年度財産目録

平成20年3月31日現在

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科 目 摘 要	金 額 (円)		
I 資産の部 1. 流動資産 現金 普通預金 七十七銀行 中新田支店 普通預金 古川信用組合 中新田支店 流動資産合計	134,661 22,895 625,740	783,296	
資産合計(A)			783,296
II 負債の部 1. 流動負債 未払い金 謝金 前受金 会費 預り金 源泉所得税 流動負債合計	478,350 133,000 23,271	634,621	
負債合計(B)			634,621
正味財産 (C=A-B)			148,675

特 別 会 計

(スポーツ振興基金引継残高)

平成20年3月31日現在

JA加美よつば農業共同組合

中新田支店	定期預金	NO.	7,000,000 円
中新田支店	普通預金	NO.	67,262 円

七十七銀行

中新田支店	定期預金	NO.	5,000,000 円
中新田支店	普通預金	NO.	50,450 円

総合計 12,117,712 円

定期預金合計 12,000,000 円
普通預金合計 117,712 円

平成19年3月31日現在残高 13,349,659 円

平成20年3月31日現在残高 12,117,712 円

差引正味財産増減額 △ 1,231,947 円
(平成19年度正味財産減少額 1,231,947円)

内訳

加美よつば農業協同組合

中新田支店	定期預金	利息	24,567
中新田支店	普通預金	利息	835
			<hr/>
			25,402 ①

支出

SSFスポーツエイド返還金	4,522
指定管理者申請書作成料	250,000
SSFスポーツエイド自己資金	211,835
<hr/>	
	466,357 ②

七十七銀行

中新田支店	定期預金	利息	8,869
中新田支店	普通預金	利息	139
			<hr/>
			9,008 ③

支出

本会計繰入金	700,000
SSFスポーツエイド自己資金	100,000
<hr/>	
	800,000 ④

(②+④)-(①+③) = 差引減少額 1,231,947

監査報告書

平成19年度特定非営利活動法人ジョナスの事業状況及び収入支出
決算について、平成20年4月23日諸帳簿及び証拠書類等の提出を
受け監査をした結果、事業及び会計の執行状況並びに運営は適切で
あり、且つ、関係諸帳簿及び証拠書類等は適切と認めたことをここに
報告いたします。

平成20年4月23日

監事

森 紘

監事

遠藤 幸史

特定非営利活動法人ジョナス

理事長 田中安友殿

特定非営利活動法人ジョイナス平成20年度通常総会 議事録

日時:平成20年4月30日 19時20分開会
場所:加美町中新田公民館 研修室

○尾形クラブマネージャーより出席者10名 (内、委任状出席 1名)報告があり、定款により
総会成立を宣言する。

○挨拶 理事長 田中安友

○ 議長選出

田中理事長が仮議長となり、議長選出方法を諮ったところ、出席会員より仮議長一任
との発言があり、仮議長は、工藤清悦氏を指名し、全員異議なく承認した。
工藤議長は、議案審議に先立ち、議事録署名人2名の選任を諮ったところ、議長指名
の声があり、議長は議長指名を諮ったところ、全員承認。議長は、福地秀一氏、佐藤勝
夫氏を指名、両氏とも就任を承諾した。

議事

第1号議案 平成19年度事業報告及び収支決算の承認について

議長は、本議案の説明を求めた。田中理事長が平成19年度の総括を述べ、事業報
告について総務部長 尾形明より、収支決算について総務副部長 佐々木
嘉昭が資料に基づいて説明した。

次いで、監事 森 敏が監事を代表して監査の報告をし、適正に処理されている旨の
報告があった。

議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

第2号議案 平成20年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認について

議長は、本議案の説明を求めた。運営委員長、米澤廉之が平成20年度の方針を
述べ、事業計画(案)について総務部長 尾形明より、収支予算(案)について総務
副部長 佐々木嘉昭が資料に基づいて説明した。

議長は本議案について質問を求めたが全員異議なく承認した。

第3号議案 理事の辞任の承認について

議長は、本議案の説明を求めた。田中理事長より、理事 高橋秋雄氏より一身上の都
合により辞任の申出があった旨の説明をした。

議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認された。

議長は本日の議案は終了したので、20時30分、議事を閉めた。

この議事録が明確であることを証する為、議長及び議事録署名人が署名押印して保存する。

平成20年4月30日

議長

工藤清悦

議事録署名人

佐藤勝夫

議事録署名人

福地秀一

平成20年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

特定非営利活動法人ジョイナス

I 経営収入の部

単位 円

1 会費				
登録会員会費収入	895,000			
正会員会費収入	55,000			個人 11名
賛助会員会費収入	14,000			団体 1 個人 3名
		964,000		
2 事業収入				
物販事業収入	429,400	429,400		教室・イベント事業
3 寄付金				
寄付金	30,925	30,925		寄付金 30,925
4 雑収入				
	1,456	1,456		受取利息、コピー代等 860 596
5 繰入金				
	1,600,000	1,600,000		振興基金 1,600,000
当期収入合計(A)			3,025,781	
前期繰越収支差額			148,675	
収入合計(B)			3,174,456	

II 経営支出の部

1 運営費及び管理費				
諸謝金	615,500			スクール・サークル謝金 282,900 教室・シニア謝金 332,600
旅費	162,568			移動旅費 83,694 教室・研修旅費 78,874
リース費	249,800			パソコンリース代 249,800
消耗品費	96,002			コピー代 81,000 事務用品 15,002
備品費	0			
印刷製本費	101,190			会員募集チラシ 68,250 機関紙 他 32,940
通信運搬費	201,659			電話代 147,909 郵券代 53,750
賃金	1,440,000			クラブマネジャー
会議費	16,219			講師等飲食代 16,219
支払保険料	55,650			賠償・傷害保険 45,100 教室・イベント保険 10,550
法定保険料	28,152			労働保険
雑費	64,782			手数料他 52,182 スポーツ安全保険振込手数料 12,600
当期支出合計(C)			3,031,522	
当期収支差額(A)-(C)			-5,741	
次期繰越収支差額(B)-(C)			142,934	

平成20年度 貸借対照表

平成21年3月31日現在

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科目・摘要	金額 (円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
手持現金	97,000		
七十七銀行	6,843		
古川信用組合	425,481		
流動資産合計		529,324	
資産合計			529,324
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	282,900		
前受金	97,000		
預り金	6,490		
謝金			
会費			
源泉所得税			
流動負債合計		386,390	
負債合計			386,390
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	148,675		
当期正味財産増加額(減少額)	△5,741		
		142,934	
正味財産合計			142,934
負債及び正味財産合計			529,324

平成20年度財産目録

平成21年3月31日現在

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科 目	摘 要	金 額 (円)	
I	資産の部		
	1. 流動資産		
	現金	97,000	
	普通預金 七十七銀行 中新田支店	6,843	
	普通預金 古川信用組合 中新田支店	425,481	
	流動資産合計		529,324
	資産合計(A)		529,324
II	負債の部		
	1. 流動負債		
	未払い金 謝金	282,900	
	前受金 会費	97,000	
	預り金 源泉所得税	6,490	
	流動負債合計		386,390
	負債合計(B)		386,390
	正味財産 (C=A-B)		142,934

特 別 会 計

(スポーツ振興基金引継残高)

平成21年3月31日現在

JA加美よつば農業共同組合

中新田支店 定期預金 NO. 5,000,000 円

中新田支店 普通預金 NO. 319,861 円

七十七銀行

中新田支店 定期預金 NO. 5,000,000 円

中新田支店 普通預金 NO. 61,354 円

総合計 10,381,215 円

定期預金合計 10,000,000 円

普通預金合計 381,215 円

平成20年3月31日現在残高 12,117,712 円

平成21年3月31日現在残高 10,381,215 円

差引正味財産増減額 △ 1,736,497 円

(平成19年度正味財産減少額 1,231,947円)

内訳

加美よつば農業協同組合

中新田支店	定期預金	利息	5,830
中新田支店	普通預金	利息	869
			<hr/>
			6,699 ①

支出

本会計へ繰入金	1,600,000
SSFスポーツエイド自己資金	154,100
<hr/>	
1,754,100. ②	

七十七銀行

中新田支店	定期預金	利息	10,831
中新田支店	普通預金	利息	73
			<hr/>
			10,904 ③

②-(①+③)=差引減少額 1,736,497

監査報告書

平成20年度特定非営利活動法人ジョナスの事業状況及び収入支出
決算について、平成20年4月30日諸帳簿及び証拠書類等の提出を
受け監査をした結果、事業及び会計の執行状況並びに運営は適切であ
り、且つ、関係諸帳簿及び証拠書類等は適切と認めたことをここに
報告いたします。

平成21年4月30日

監事 森 弘

監事 遠藤 幸史

特定非営利活動法人ジョナス

理事長 田中安友 殿

特定非営利活動法人ジョイナス平成21年度通常総会 議事録

日時:平成21年5月8日 19時00分開会
場所:加美町中新田体育館 ミーティング室

- 出席報告 出席者9名 (内、委任状出席 3名)
尾形クラブマネージャーより、総会成立の報告、開会を宣言する。
- 挨拶 理事長 田中安友
- 議長選出
田中理事長が仮議長となり、議長選出方法を諮ったところ、出席会員より仮議長一任との発言があり、仮議長は、佐々木育男氏を指名し、全員異議なく承認した。
佐々木議長は、議案審議に先立ち、議事録署名人2名の選任を諮ったところ、議長指名の声があり、議長は議長指名を諮ったところ、全員承認。議長は、工藤清悦氏、米澤康之氏指名、河氏とも就任を承諾した。

議事

第1号議案 平成20年度事業報告及び収支決算の承認について

議長は、本議案の説明を求め、事業報告及び運営関係について企画事業・健康医療福祉部会長工藤清悦より資料に基づいて説明した。また、収支決算について総務・財務部会佐々木嘉昭より資料に基づいて説明した。次いで、田中理事長が監事の森 紘氏が欠席の旨を報告、田中理事長が代理で4月30日に監査を受け、適正に処理されている旨の報告をした。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

第2号議案 平成21年度事業計画(案)及び収支決算(案)の承認について

議長は、本議案の説明を求め、定款の規定により田中理事長から資料に基づいて説明した。議長は本議案について質問を求めたが全員異議なく承認した。

第3号議案 役員選任について

議長が、本議案について説明を求めた。
田中理事長が、定款に沿って役員定数と選任方法を説明した。現理事、監事は平成21年5月8日をもって任期が満了したため、後任者の選任を行う必要があるため選出してほしい旨を説明した。また、理事後任選任江氏は退任を表明しているため、その処遇について求めた。議長は一同に諮ったところ、全員異議なく承認。後任選任江氏は退任した。
議長は、任期満了に伴う役員選出方法を諮ったところ、執行部一任の声があり、全員異議なく了承された。理事長は、下記の者を理事及び監事候補として提示した。

理事		監事	
佐々木 秀一	再任	森 紘	再任
田中 安友	再任	遠藤 幸生	再任
米澤 康之	再任		
尾形 明	再任		
菅原 里	再任		
尾形 敦子	再任		

議長は、その承認を求めたところ全員異議なく承認可決した。

承認された理事、監事全員はその就任を承諾した。

議長は本日の議案は終了したので、20時20分、議事を閉めた。

この議事録が明確であることを証する為、議長及び議事録署名人が署名押印して保存する。

平成21年5月8日

議長 佐々木育男

議事録署名人 工藤清悦 印

議事録署名人 米澤康之

平成21年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人ジョイナス

I 経営収入の部

単位 円

1 会費					
登録会員会費収入	623,000			会員	201名
正会員会費収入	45,000			個人	9名
賛助会員会費収入	45,000			団体	9事業所 個人
		713,000			
2 事業収入					
事業参加費収入	564,190	564,190		教室・イベント事業	224,390 339,800
3 寄付金					
寄付金	793,325	793,325		寄付金	793,325
4 雑収入					
	12,368	12,368		受取利息、コピー代等	12,368
5 基金繰入金					
	1,300,000	1,300,000		スポーツ振興基金	1,300,000
当期収入合計(A)			3,382,883		
前期繰越収支差額			142,934		
収入合計(B)			3,525,817		

II 経営支出の部

1 運営費及び管理費					
諸謝金	523,750			スクール・サークル謝金	213,750
				教室・シニア謝金	310,000
旅費	110,969			移動旅費	80,401
				教室・研修旅費	30,568
備品費	885,780			体力測定ソフト	140,280
				コピー・PC代	745,500
消耗品費	76,424			コピー代	34,987
				事務用品	41,437
会場費	0				
印刷製本費	107,236			会員募集チラシ	68,250
				機関紙 他	38,986
通信運搬費	174,594			電話代	126,344
				郵便代	48,250
賃金	1,440,000			クラブマネジャー	
会議費	8,913			講師等昼食代	8,913
支払保険料	34,490			賠償・傷害保険	29,490
				教室・イベント保険	5,000
法定保険料	20,232			労働保険	
雑費	33,035			手数料他	24,635
				スポーツ安全保険拠込手数料	8,400
当期支出合計(C)			3,415,423		
当期収支差額(A) - (C)			-32,540		
次期繰越収支差額(B) - (C)			110,394		

平成21年度 貸借対照表

平成22年3月31日現在

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科目・摘要	金額 (円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
手持現金	53,373		
七十七銀行	7,591		
古川信用組合	323,410		
流動資産合計		384,374	
資産合計			384,374
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	213,750		
前受金	53,000		
預り金	7,230		
謝金			
会費			
源泉所得税			
流動負債合計		273,980	
負債合計			273,980
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	142,934		
当期正味財産増加額(減少額)	△32,540		
正味財産合計		110,394	
負債及び正味財産合計			384,374

平成21年度財産目録

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科 目 ・ 摘 要	金 額 (円)		
I 資産の部 1. 流動資産 現金 普通預金 七十七銀行 中新田支店 普通預金 古川信用組合 中新田支店 流動資産合計	53,373 7,591 323,410	384,374	
資産合計(A)			384,374
II 負債の部 1. 流動負債 未払い金 謝金 前受金 会費 預り金 源泉所得税 流動負債合計	213,750 53,000 7,230	273,980	
負債合計(B)			273,980
正味財産 (C=A-B)			110,394

特 別 会 計

(スポーツ振興基金引継残高)

平成22年3月31日現在

前 期 繰 越 金	
J A加美よつば農業共同組合	
中新田支店 定期預金	5,000,000 円
中新田支店 普通預金	319,861 円
七 十 七 銀 行	
中新田支店 定期預金	5,000,000 円
中新田支店 普通預金	61,354 円
前期繰越金合計 (A)	10,381,215 円
I . 収 入 の 部	
1) 受 取 利 息	
J A加美よつば農業共同組合	17,608 円
七 十 七 銀 行	5,425 円
当期収入合計 (B)	23,033 円
収 入 合 計 (A) + (B) = (C)	10,404,248 円
II . 支 出 の 部	
1) 本会計繰入金	
J A加美よつば農業共同組合 普通預金	300,000 円
七 十 七 銀 行 定期預金	1,000,000 円
当期支出合計 (D)	1,300,000 円
当期収支差額 (C) - (D)	9,104,248 円
次 期 繰 越 金	
J A加美よつば農業共同組合	
中新田支店 定期預金	5,000,000 円
中新田支店 普通預金	37,469 円
七 十 七 銀 行	
中新田支店 定期預金	4,000,000 円
中新田支店 普通預金	66,779 円
平成22年3月31日現在残高合計	9,104,248 円

監査報告書

平成21年度特定非営利活動法人ジョナスの事業状況及び収入支出
決算について、平成22年4月30日諸帳簿及び証拠書類等の提出を
受け監査をした結果、事業及び会計の執行状況並びに運営は適切であ
り、且つ、関係諸帳簿及び証拠書類等は適切と認めたことをここに
報告いたします。

平成 22 年 4 月 30 日

監事 森 法

監事 遠藤 幸治

特定非営利活動法人ジョナス

理事長 田中安友殿

特定非営利活動法人ジョイナス平成22年度通常総会 議事録

日時:平成22年5月7日 19時00分開会

場所:加美町中新田体育館 ミーティング室

この議事録が明確であることを証する為、議長及び議事録署名人が署名押印して保存する。

- 出席報告 出席者9名 (内、委任状出席 3名)
尾形クラブマネージャーより、総会成立の報告、開会を宣言する。

○挨拶 理事長 田中安友

- 議長選出

田中理事長が仮議長となり、議長選出方法を諮ったところ、出席会員より仮議長一任との発言があり、仮議長は、工藤清悦氏を指名し、全員異議なく承認した。工藤議長は、議案審議に先立ち、議事録署名人2名の選任を諮ったところ、議長指名の声があり、議長は議長指名を諮ったところ、全員承認。議長は、尾形明氏、佐々木嘉昭氏指名、両氏とも就任を承諾した。

議事

第1号議案 平成21年度事業報告及び収支決算の承認について

議長は、本議案の説明を求め、事業報告及び運営関係について企画事業・健康医療福祉部会米澤康之より資料に基づいて説明した。また、収支決算について総務・財務部会佐々木嘉昭より資料に基づいて説明した。次いで、監事を代表して森 紘氏が監査の結果を報告し、適正に処理されている旨を述べた。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

第2号議案 平成22年度事業計画(案)及び収支決算(案)の承認について

議長は、本議案の説明を求め、事業計画(案)について企画事業・健康医療福祉部会米澤康之より資料に基づいて説明した。また、収支予算(案)について総務・財務部会佐々木嘉昭より資料に基づいて説明した。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

議長は本日の議案は終了したので、20時10分、議事を閉めた。

平成22年5月7日

議長 工藤清悦

議事録署名人 尾形明

議事録署名人 佐々木嘉昭

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計収支決算書

平成22年4月1日から平成23年 3月 31日まで

特定非営利活動法人ジョイナス

I 経営収入の部		単位 円	
1 会費			
登録会員会費収入	500,000		会員 156名
正会員会費収入	50,000		個人 10名
賛助会員会費収入	13,000		団体 個人 2名
		563,000	
2 事業収入			
事業参加費収入	326,100	326,100	教室・イベント事業 326,100
3 寄付金			
寄付金	870,000	870,000	寄付金
4 雑収入			
	51	51	受取利息、コピー代等 51
5 基金繰入金			
	800,000	800,000	800,000
当期収入合計(A)		2,559,151	
前期繰越収支差額		110,394	
収入合計(B)		2,669,545	
II 経営支出の部			
1 運営費及び管理費			
諸謝金	540,600		スクール・サークル謝金 213,600 教室・シニア謝金 327,000
旅費	118,961		移動旅費 79,439 教室・研修旅費 39,522
備品費	0		
消耗品費	51,781		事務用品 (コピー代等) 42,981 スポーツ消耗品 8,800
会場費	1,260		施設利用料 1,260
印刷製本費	82,950		会員募集チラシ 68,250 機関紙 他 14,700
通信運搬費	147,854		電話代 118,484 郵便代 29,370
賃金	1,440,000		クラブマネジャー
会議費	10,942		講師等昼食代 10,942
支払保険料	31,990		賠償・傷害保険 27,990 教室・イベント保険 4,000
法定保険料	26,712		労働保険
雑費	27,859		手数料他 20,648 スポーツ安全保険振込手数料 7,211
当期支出合計(C)		2,480,909	
当期収支差額(A)-(C)		78,242	
次期繰越収支差額(B)-(C)		188,636	

平成22年度 貸借対照表

平成23年3月31日現在

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科目・摘要	金額 (円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
手持現金	5,343		
七十七銀行	6,693		
古川信用組合	396,530		
流動資産合計		408,566	
資産合計			408,566
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金 謝金	213,600		
預り金 源泉所得税	6,330		
流動負債合計		219,930	
負債合計			219,930
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	110,394		
当期正味財産増加額(減少額)	78,242		
正味財産合計		188,636	
負債及び正味財産合計			408,566

平成22年度財産目録

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科 目	摘 要	金 額 (円)	
I	資産の部		
	1. 流動資産		
	現金	5,343	
	普通預金 七十七銀行 中新田支店	6,693	
	普通預金 古川信用組合 中新田支店	396,530	
	流動資産合計		408,566
	資産合計(A)		408,566
II	負債の部		
	1. 流動負債		
	未払い金 謝金	213,600	
	前受金	0	
	預り金 源泉所得税	6,330	
	流動負債合計		219,930
	負債合計(B)		219,930
	正味財産 (C=A-B)		188,636

特 別 会 計

(スポーツ振興基金引継残高)

平成23年3月31日現在

前 期 繰 越 金	
J A加美よつば農業共同組合	
中新田支店 定期預金	5,000,000 円
中新田支店 普通預金	37,469 円
七 十 七 銀 行	
中新田支店 定期預金	4,000,000 円
中新田支店 普通預金	66,779 円
前 期 繰 越 金 合 計 (A)	9,104,248 円
I . 収 入 の 部	
1) 受 取 利 息	
J A加美よつば農業共同組合	10,008 円
七 十 七 銀 行	940 円
2) 戻 し 入 れ	
七 十 七 銀 行	200,000 円
当 期 収 入 合 計 (B)	210,948 円
収 入 合 計 (A) + (B) = (C)	9,315,196 円
II . 支 出 の 部	
1) 本 会 計 繰 入 金	
七 十 七 銀 行 定期預金	1,000,000 円 (内800,000円本会計に繰り入れ)
当 期 支 出 合 計 (D)	1,000,000 円
当 期 収 支 差 額 (C) - (D)	8,315,196 円
次 期 繰 越 金	
J A加美よつば農業共同組合	
中新田支店 定期預金	5,000,000 円
中新田支店 普通預金	47,477 円
七 十 七 銀 行	
中新田支店 定期預金	3,000,000 円
中新田支店 普通預金	267,719 円
平 成 2 3 年 3 月 3 1 日 現 在 残 高 合 計	8,315,196 円

監査報告書

平成22年度特定非営利活動法人ジョイナスの事業状況及び収入支出
決算について、平成23年 5月 2日諸帳簿及び証拠書類等の提出を
受け監査をした結果、事業及び会計の執行状況並びに運営は適切であ
り、且つ、関係諸帳簿及び証拠書類等は適切と認めたことをここに
報告いたします。

平成 23年 5月 2日

監事

木村

誠

監事

遠藤 幸寛

特定非営利活動法人ジョナス

理事長 田中安友 殿

特定非営利活動法人ジョイナス平成23年度通常総会 議事録

日時:平成23年5月6日 19時00分開会

場所:加美町中新田公民館

- 出席報告 出席者10名 (内、委任状出席 3名)
尾形クラブ マネージャーより、総会成立の報告、開会を宣言する。

○ 挨拶 理事長 田中安友

○ 議長選出

田中理事長が仮議長となり、議長選出方法を賭ったところ、出席会員より仮議長一任との発言があり、仮議長は、工藤清悦氏を指名し、全員異議なく承認した。工藤議長は、議案審議に先立ち、議事録署名人2名の選任を賭ったところ、議長指名の声があり、議長は議長指名を賭ったところ、全員承認。議長は、米澤康之氏、工藤香織氏指名、阿氏とも就任を承諾した。

議事

第1号議案 平成22年度事業報告及び収支決算の承認について

議長は、本議案の説明を求め、事業報告及び運営関係について総務・財務部会長 尾形明より資料に基づいて説明した。また、収支決算についてクラブマネージャーの尾形敦子より資料に基づいて説明した。次いで、田中理事長が監事の森 絃氏が欠席の旨を報告、田中理事長が代理で5月2日に監査の結果を報告し、適正に処理されている旨を述べた。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

第2号議案 平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認について

議長は、本議案の説明を求め、事業計画(案)及び収支予算(案)について田中理事長から資料に基づいて説明した。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

第3号議案 役員選任について

議長が、本議案について説明を求めた。
田中理事長が、定款に沿った役員定数と選任方法を説明した。現理事長、監事は平成23年5月8日をもって任期が満了するので、後任者の選任を行う必要があるので選出してほしい旨を説明した。

議長は、任期満了に伴う役員選出方法を賭ったところ、執行部一任の声があり、全員異議なく承認された。理事長は、下記の者を理事及び監事候補として提示した。

理事		監事	
佐々木 秀一	再任	森 絃	再任
田中 安友	再任	遠藤 幸生	再任
米澤 康之	再任		
尾形 明	再任		
菅原 里	再任		
尾形 敦子	再任		

議長は、その承認を求めたところ全員異議なく承認可決した。

承認された理事、監事全員はその就任を承諾した。

議長は本日の議案は終了したので、20時40分、議事を閉めた。
この議事録が明確であることを証する為、議長及び議事録署名人が署名押印して保存する。

平成23年5月6日

議 長 工藤清悦

議事録署名人 工藤香織

議事録署名人 米澤康之

平成23年度 特定非営利活動に係る事業会計収支決算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人ジョイナス

I 経営収入の部

単位 円

1 会費				
登録会員会費収入	351,000		会員	103名
正会員会費収入	45,000		個人	9名
賛助会員会費収入	5,000		団体	1 個人
		401,000		
2 事業収入				
事業参加費収入	312,300	312,300	教室・イベント事業	
3 寄付金				
寄付金	770,000	770,000	寄付金	
4 雑収入	6,103	6,103	受取利息、コピー代等	6,103
5 繰入金	800,000	800,000		800,000
当期収入合計(A)			2,289,403	
前期繰越収支差額			188,636	
収入合計(B)			2,478,039	

II 経営支出の部

1 運営費及び管理費				
諸謝金	457,900		スクール・サークル謝金	123,900
			教室・シニア謝金	334,000
旅費	119,269		移動旅費	60,420
			教室・研修旅費	58,849
備品費	13,000		プリンター台作成代	13,000
消耗品費	72,525		コピー代・事務用品	58,525
			スポーツ消耗品	14,000
会場費	1,880		施設冷暖房費	1,880
印刷製本費	93,450		会員募集チラシ	68,250
			機関紙 他	25,200
通信運搬費	136,630		電話代	106,920
			郵便代	29,710
賃金	1,440,000		クラブマネジャー	
会議費	16,540		講師等昼食代	16,540
支払保険料	35,500		賠償・傷害保険	28,500
			教室・イベント保険	7,000
法定福利費	26,712		労働保険	26,712
雑費	25,396		手数料他	22,220
			スポーツ安全保険振込手数料	3,176
当期支出合計(C)			2,438,802	
当期収支差額(A) - (C)			-149,399	
次期繰越収支差額(B) - (C)			39,237	

平成23年度 貸借対照表

平成24年3月31日現在

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科目・摘要	金額 (円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
手持現金	41,061		
七十七銀行	9,094		
古川信用組合	157,712		
流動資産合計		207,867	
資産合計			207,867
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	123,900		
前受金	36,000		
預り金	8,730		
謝金			
会費			
源泉所得税			
流動負債合計		168,630	
負債合計			168,630
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	188,636		
当期正味財産増加額(減少額)	-149,399		
正味財産合計		39,237	
負債及び正味財産合計			207,867

特 別 会 計

(スポーツ振興基金引継残高)

平成24年3月31日現在

前期繰越金	
JA加美よつば農業共同組合	
中新田支店 定期預金	5,000,000 円
中新田支店 普通預金	47,477 円
七十七銀行	
中新田支店 定期預金	3,000,000 円
中新田支店 普通預金	267,719 円
前期繰越金合計 (A)	8,315,196 円
I . 収入の部	
1) 受取利息	
JA加美よつば農業共同組合	3,009 円
七十七銀行	512 円
2) 戻し入れ	
七十七銀行	200,000 円
当期収入合計 (B)	203,521 円
収入合計 (A) + (B) = (C)	8,518,717 円
II . 支出の部	
1) 本会計繰入金	
七十七銀行 定期預金	1,000,000 円
	(内800,000円本会計に繰り入れ)
当期支出合計 (D)	1,000,000 円
当期収支差額 (C) - (D)	7,518,717 円
次期繰越金	
JA加美よつば農業共同組合	
中新田支店 定期預金	5,000,000 円
中新田支店 普通預金	50,486 円
七十七銀行	
中新田支店 定期預金	2,000,000 円
中新田支店 普通預金	468,231 円
平成24年3月31日現在残高合計	7,518,717 円

監査報告書

平成23年度特定非営利活動法人ジョイナスの事業状況及び収入支出
決算について、平成24年 4月28日諸帳簿及び証拠書類等の提出を
受け監査をした結果、事業及び会計の執行状況並びに運営は適切であ
り、且つ、関係諸帳簿及び証拠書類等は適切と認めたことをここに
報告いたします。

平成 24年 4月 28日

監事 木 林 弘

監事 遠 藤 幸生

特定非営利活動法人ジョナス

理事長 田中安友殿

特定非営利活動法人ジョイナス平成24年度通常総会 議事録

日時：平成24年5月9日 19時00分開会

場所：加美町中新田公民館

議長は本日の議案は終了したので、20時40分、議事を閉めた。
この議事録が明確であることを証する為、議長及び議事録署名人が署名押印して
保存する。

- 出席報告 出席者10名（内、委任状出席 3名）

尾形クラブマネージャーより、総会成立の報告、開会を宣言する。

- 挨拶 理事長 田中安友

- 議長選出

田中理事長が仮議長となり、議長選出方法を諮ったところ、出席会員より仮議長一任との発言があり、仮議長は、工藤清悦氏を指名し、全員異議なく承認した。工藤議長は、議案審議に先立ち、議事録署名人2名の選任を諮ったところ、議長指名の声があり、議長は議長指名を諮ったところ、全員承認。議長は、佐々木嘉昭氏、工藤香織氏指名、両氏とも就任を承諾した。

議事

- 第1号議案 平成23年度事業報告及び収支決算の承認について

議長は、本議案の説明を求め、事業報告及び運営関係について副理事長佐々木秀一より資料に基づいて説明した。また、収支決算についてクラブマネージャーの尾形敦子より資料に基づいて説明した。次いで、監事 森 紘氏が4月28日に監査の結果を報告し、適正に処理されている旨を述べた。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

- 第2号議案 平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認について

議長は、本議案の説明を求め、事業計画(案)及び収支予算(案)について田中理事長から資料に基づいて説明した。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

- 第3号議案 代表権を有する理事の選任について

議長が、本議案について説明を求めた。
クラブマネージャーの尾形敦子より、NPO法の改正により変更登記の必要がある旨を説明した。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。
議長は、本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

議 長 工藤清悦

議事録署名人 佐々木嘉昭

議事録署名人 工藤香織

平成24年5月9日

平成24年度 特定非営利活動に係る事業会計収支決算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人ジョイナス

I 経営収入の部

単位 円

1 会費			
登録会員会費収入	346,000		会員 97名
正会員会費収入	55,000		個人 11名
賛助会員会費収入			団体 個人
		401,000	
2 事業収入			
自主事業収入	450,060		教室・イベント事業参加費
受託事業収入	486,575		管理業務費・事務局費 457,400 29,175
		936,635	
3 助成金収入			
スポーツ振興くじ助成金	3,540,000	3,540,000	
4 寄付金収入			
	0	0	
5 雑収入			
	3,056	3,056	受取利息、コピー代等 476 2,580
当期収入合計 (A)			4,880,691
前期繰越収支差額			39,237
収入合計 (B)			4,919,928

II 経営支出の部

1 運営費及び管理費			
諸謝金	499,450		スクール・サークル謝金 123,450 教室・シニア謝金 376,000
旅費	166,720		移動旅費 96,300 教室・研修旅費 70,420
備品費	1,780		ポット(魔法瓶) 1,780
消耗品費	98,979		コピー代 24,161 事務用品 74,818
会場費	1,660		冷暖房費 1,660
印刷製本費	99,120		会員募集チラシ 67,200 機関紙 他 31,920
通信運搬費	130,854		電話代 105,094 郵券代 25,760
賃金	3,325,906		クラブマネジャー 120,000 2,040,000 サブマネジャー 115,906 1,050,000
会議費	15,405		会議、ボランティアガイド昼食代 15,405
支払保険料	24,870		賠償・傷害保険 15,870 教室・イベント保険 9,000
法定福利費	397,688		労働保険 33,732 健康保険・厚生年金保険 363,956
雑費	80,587		研修参加費・手数料他 78,217 スポーツ安全保険申込手数料 2,370
当期支出合計 (C)			4,843,019
当期収支差額 (A) - (C)			37,672
次期繰越収支差額 (B) - (C)			76,909

平成24年度 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科目・摘要	金額 (円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
手持現金	25,948		
七十七銀行	26,279		
古川信用組合	110,043		
古川信用組合	48,679		
未収金	84,000		
流動資産合計		294,949	
資産合計			294,949
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	123,450		
前受金	20,000		
預り金	74,590		
謝金			
会費			
源泉所得税			
流動負債合計		218,040	
負債合計			218,040
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	39,237		
当期正味財産増加額(減少額)	37,672		
正味財産合計		76,909	
負債及び正味財産合計			294,949

平成24年度 財産目録

(特定非営利活動法人ジョイナス)

科 目	摘 要	金 額 (円)	
I	資産の部		
	1. 流動資産		
	現金	25,948	
	普通預金 七十七銀行 中新田支店	26,279	
	普通預金 古川信用組合 中新田支店	110,043	
	普通預金 古川信用組合 中新田支店	48,679	
	未 収 金	84,000	
	流動資産合計		294,949
	資産合計 (A)		294,949
II	負債の部		
	1. 流動負債		
	未払い金 謝金	123,450	
	前受金	20,000	
	預り金 源泉所得税	74,590	
	流動負債合計		218,040
	負債合計 (B)		218,040
	正味財産 (C=A-B)		76,909

特 別 会 計

(スポーツ振興基金引継残高)

平成25年3月31日現在

前 期 繰 越 金	
J A加美よつば農業共同組合	
中新田支店 定期預金	5,000,000 円
中新田支店 普通預金	50,486 円
七 十 七 銀 行	
中新田支店 定期預金	2,000,000 円
中新田支店 普通預金	468,231 円
前 期 繰 越 金 合 計 (A)	7,518,717 円
I . 収 入 の 部	
1) 受 取 利 息	
J A加美よつば農業共同組合	1,514 円
七 十 七 銀 行	429 円
当 期 収 入 合 計 (B)	1,943 円
収 入 合 計 (A) + (B) = (C)	7,520,660 円
II . 支 出 の 部	
1) 本 会 計 繰 入 金	
0 円	
当 期 支 出 合 計 (D)	0 円
当 期 収 支 差 額 (C) - (D)	7,520,660 円
次 期 繰 越 金	
J A加美よつば農業共同組合	
中新田支店 定期預金	5,000,000 円
中新田支店 普通預金	52,000 円
七 十 七 銀 行	
中新田支店 定期預金	2,000,000 円
中新田支店 普通預金	468,660 円
平 成 2 5 年 3 月 3 1 日 現 在 残 高 合 計	7,520,660 円

監査報告書

平成24年度特定非営利活動法人ジョイナスの事業状況及び収入支出
決算について、平成25年 4月28日諸帳簿及び証拠書類等の提出を
受け監査をした結果、事業及び会計の執行状況並びに運営は適切であ
り、且つ、関係諸帳簿及び証拠書類等は適切と認めたことをここに
報告いたします。

平成25年 4月30日

監事 本 林 隆

監事 遠 藤 幸生

特定非営利活動法人ジョナス

理事長 田中安友殿

特定非営利活動法人ジョイナス平成25年度通常総会 議事録

日時:平成25年5月8日 19時00分開会

場所:加美町中新田公民館

- 出席報告 出席者10名 (内、委任状出席 2名)
尾形クラブマネージャーより、総会成立の報告、開会を宣言する。
- 挨拶 理事長 田中安友
- 議長選出
田中理事長が仮議長となり、議長選出方法を諮ったところ、出席会員より仮議長一任との発言があり、仮議長は、佐々木嘉昭氏を指名し、全員異議なく承認した。佐々木議長は、議案審議に先立ち、議事録署名人2名の選任を諮ったところ、議長指名の声があり、議長は議長指名を諮ったところ、全員承認。議長は、工藤清悦氏、大宮志麻氏指名、両氏とも就任を承諾した。

議事

第1号議案 平成24年度事業報告及び収支決算の承認について
議長は、本議案の説明を求め、事業報告及び運営関係について広報部会長の佐々木秀一より資料に基づいて説明した。また、収支決算について総務部会長の尾形明より資料に基づいて説明した。次いで、田中理事長が監事の森 紘氏が欠席の旨を報告、田中理事長が代理で4月28日に監査の結果を報告し、適正に処理されている旨を述べた。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

第2号議案 平成25年度事業計画(案)及び活動予算(案)の承認について
議長は、本議案の説明を求め、事業計画(案)及び活動予算(案)について田中理事長から資料に基づいて説明した。議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認した。

第3号議案 役員選任について
議長が、本議案について説明を求めた。
田中理事長が、定款に沿った役員定数と選任方法を説明した。現理事、監事は平成25年5月8日をもって任期が満了するので、後任者の選任を行う必要がある。議長は、本議案について説明した。

議長は、任期満了に伴う役員の出選方法を諮ったところ、執行部一任の声があり、全員異議なく承認された。理事長は、下記の者を理事及び監事候補として提示した。

理事	監事
佐々木 秀一	再任
田中 安友	再任
米澤 康之	再任
尾形 明	再任
菅原 里	再任
尾形 敦子	再任
	森 紘
	遠藤 幸生

議長は、その承認を求めたところ全員異議なく承認可決した。

承認された理事、監事全員はその就任を承諾した。

議長は本日の議案は終了したので、20時10分、議事を閉めた。
この議事録が明確であることを証する為、議長及び議事録署名人が署名押印して保存する。

平成25年5月8日

議長 佐々木嘉昭 印

議事録署名人 工藤清悦 印

議事録署名人 大宮志麻

活動計算書

平成25年 4月 1日 ~ 平成26年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
登録会員受取会費	376,000	
正会員受取会費	55,000	
賛助会員受取会費	0	431,000
2 受取寄付金		
受取寄付金	0	
ボランティア受入評価益	93,800	
施設等受入評価益	642,355	736,155
3 受取助成金等		
受取民間助成金	3,840,000	
受取国庫補助金	0	3,840,000
4 事業収益		
自主事業収益	567,160	
受託事業収益	617,533	1,184,693
5 その他収益		
受取利息	124	
雑収益	22,642	22,766
6 繰入金		
基金繰入金	200,000	200,000
経常収益計		6,414,614
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	2,688,000	
法定福利費	426,549	
ボランティア評価費用	93,800	
人件費計	3,208,349	
(2) その他経費		
諸謝金	462,400	
印刷製本費	40,080	
旅費交通費	68,456	
通信運搬費	50,664	
施設等評価費用	642,355	
消耗品費	74,315	
備品費	10,500	
会議費	10,500	
会場費	1,960	
保険料	10,000	
雑費	32,911	
その他経費計	1,404,141	

事業費計		4,612,490	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	1,152,000		
法定福利費	182,807		
人件費計	1,334,807		
(2) その他経費			
諸謝金	30,000		
印刷製本費	67,200		
旅費交通費	94,920		
通信運搬費	107,970		
消耗品費	31,849		
備品費	73,005		
会議費	2,000		
保険料	22,800		
雑費	28,160		
その他経費計	457,904		
管理費計		1,792,711	
経常費用計			6,405,201
当期正味財産増減額			9,413
前期繰越正味財産額			76,909
次期繰越正味財産額			86,322

貸借対照表

平成26年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
手持現金	90,479		
七十七銀行	80,306		
古川信用組合	193,800		
古川信用組合	66		
未収金	384,000		
流動資産合計		748,651	
資産合計			748,651
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	113,400		
前受金	85,000		
預り金	79,929		
借入金	384,000		
流動負債合計		662,329	
負債合計			662,329
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		76,909	
当期正味財産増減額		9,413	
正味財産合計			86,322
負債及び正味財産合計			748,651

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によつて
います。

(1) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(2) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によつています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

(1) 人件費						
給料手当					2,688,000	2,688,000
法定福利費					426,549	426,549
ボランティア評価費用	21,000		60,200	12,600		93,800
人件費計	21,000	0	60,200	12,600	3,114,549	3,208,349
(2) その他経費						
諸謝金	92,200	35,200	335,000			462,400
印刷製本費	3,210		7,470		29,400	40,080
旅費交通費			68,456			68,456
通信運搬費	560		16,910	7,850	25,344	50,664
施設等評価費用	165,250	291,265	173,385	2,200	10,255	642,355
消耗品費	3,885		3,490		66,940	74,315
備品費					10,500	10,500
会議費			10,500			10,500
会場費			1,550		410	1,960
保険料			10,000			10,000
雑費			7,757	324	24,830	32,911
その他経費計	265,105	326,465	634,518	10,374	167,679	1,404,141
合計	286,105	326,465	694,718	22,974	3,282,228	4,612,490

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

施設の提供等の物的サービスの受入の状況は以下の通りです。

(単位:円)

中新田体育館及び中新田公民館の減免利用	642,355	中新田体育館及び中新田公民館が一般に公表している利用料金によつて算定しています。
---------------------	---------	--

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位:円)

スクール事業 8回 10名×3時間	21,000	単価は宮城県の最低賃金を参考としています。
教室事業 11回 10名×8時間	56,000	
教室事業 2回 2名×3時間	4,200	
研修・イベント事業 1回 4名×4.5時間	12,600	

5. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位:円)

人件費	1,104,000	720,000	384,000
-----	-----------	---------	---------

特 別 会 計

(スポーツ振興基金引継残高)

平成26年3月31日現在

前 期 繰 越 金	
J A加美よつば農業共同組合	
中新田支店 定期預金	5,000,000 円
中新田支店 普通預金	52,000 円
七 十 七 銀 行	
中新田支店 定期預金	2,000,000 円
中新田支店 普通預金	468,660 円
前 期 繰 越 金 合 計 (A)	
	7,520,660 円
I . 収 入 の 部	
1) 受 取 利 息	
J A加美よつば農業共同組合	1,260 円
七 十 七 銀 行	418 円
当 期 収 入 合 計 (B)	
	1,678 円
収 入 合 計 (A) + (B) = (C)	
	7,522,338 円
II . 支 出 の 部	
1) 本 会 計 繰 入 金	
	200,000 円
当 期 支 出 合 計 (D)	
	200,000 円
当 期 収 支 差 額 (C) - (D)	
	7,322,338 円
次 期 繰 越 金	
J A加美よつば農業共同組合	
中新田支店 定期預金	5,000,000 円
中新田支店 普通預金	53,260 円
七 十 七 銀 行	
中新田支店 定期預金	2,000,000 円
中新田支店 普通預金	269,078 円
平 成 2 6 年 3 月 3 1 日 現 在 残 高 合 計	
	7,322,338 円

監査報告書

平成25年度特定非営利活動法人ジョイナスの事業状況及び収入支出
決算について、平成26年 4月30日諸帳簿及び証拠書類等の提出を
受け監査をした結果、事業及び会計の執行状況並びに運営は適切であ
り、且つ、関係諸帳簿及び証拠書類等は適切と認めたことをここに
報告いたします。

平成 26年 4月 30日

監事 木 不 計

監事 遠藤 幸生

特定非営利活動法人ジョナス

理事長 田中安友 殿

特定非営利活動法人ジヨイナス平成26年度通常総会 議事録

日時:平成26年5月14日 19時10分開会

場所:加美町中新田体育館 ミーティング室

○総社員数 11名

○出席報告 出席者11名 (内、委任状出席 1名)

尾形クラブマネージャーより、総会成立の報告、開会を宣言する。

○挨拶 理事長 田中安友

○議長選出

田中理事長が仮議長となり、議長選出方法を諮ったところ、出席会員より仮議長一任との発言があり、仮議長は、工藤清悦氏を指名し、全員異議なく承認した。議長は、議案審議に先立ち、議事録署名人2名の選任を諮ったところ、議長指名の声があり、議長は議長指名を諮ったところ、全員承認。議長は、佐々木嘉昭氏、大宮志麻氏を指名、両氏とも就任を承諾した。

議事

第1号議案 平成25年度事業報告及び収支決算の承認について

議長は、本議案の説明を求め、事業報告及び運営関係について総財務部長の尾形明より資料に基づいて説明した。また、活動計算書について尾形明より資料に基づいて説明した。次いで、田中理事長が監事の森 紘氏が欠席の旨を報告、田中理事長が代理で4月30日に監査の結果を報告し、適正に処理されている旨を述べた。議長は本議案について質問を求めた。

工藤康博氏より、新規教室の運動あそび教室についての参加状況や内容について質問が出された。

尾形マネージャーは、当初参加者1名のみだったが平成25年度は最終的には3名で活動していた。運動能力に個人差があるが、少人数ということもあり個々に対応することが出来ていたと答えた。

議長はほかに質問を求めたが、全員異議なく承認した。

第2号議案 平成26年度事業計画(案)及び活動予算(案)の承認について

議長は、本議案の説明を求め、事業計画(案)及び活動予算(案)について田中理事長から資料に基づいて説明した。議長は本議案について質問を求めた。

佐々木秀一氏より機関紙発行の報告があるのだから、広報事業として機関紙発行予定も総会資料に記載すべきではないかの意見があった。

総財務部長の尾形明が、今年度は5回発行予定で、今後は広報事業として機関紙や教室の開催案内記載したい旨を話した。

議長はほかに質問を求めたが、全員異議なく承認した。

第3号議案 定款の変更について

議長が、本議案について説明を求めた。

田中理事長は、平成24年に特定非営利活動法の変更に伴い一部の文言及び事項が変更になる旨を、別紙定款(案)に基づき定款を変更したい旨を述べた。

議長は本議案について質問を求めたが、全員異議なく承認可決した。

議長は本日の議事は終了したので、20時30分、議事を閉めた。

この議事録が正確であることを証する為、議長及び議事録署名人が署名押印して保存する。

平成26年5月14日

議

長

工藤清悦

議

事

録署名人 佐々木嘉昭

議

事

録署名人 大宮志麻

